

アンケート集計統合ツール
田園 V3 操作マニュアル

V データ加工・集計編



テクノフロー株式会社

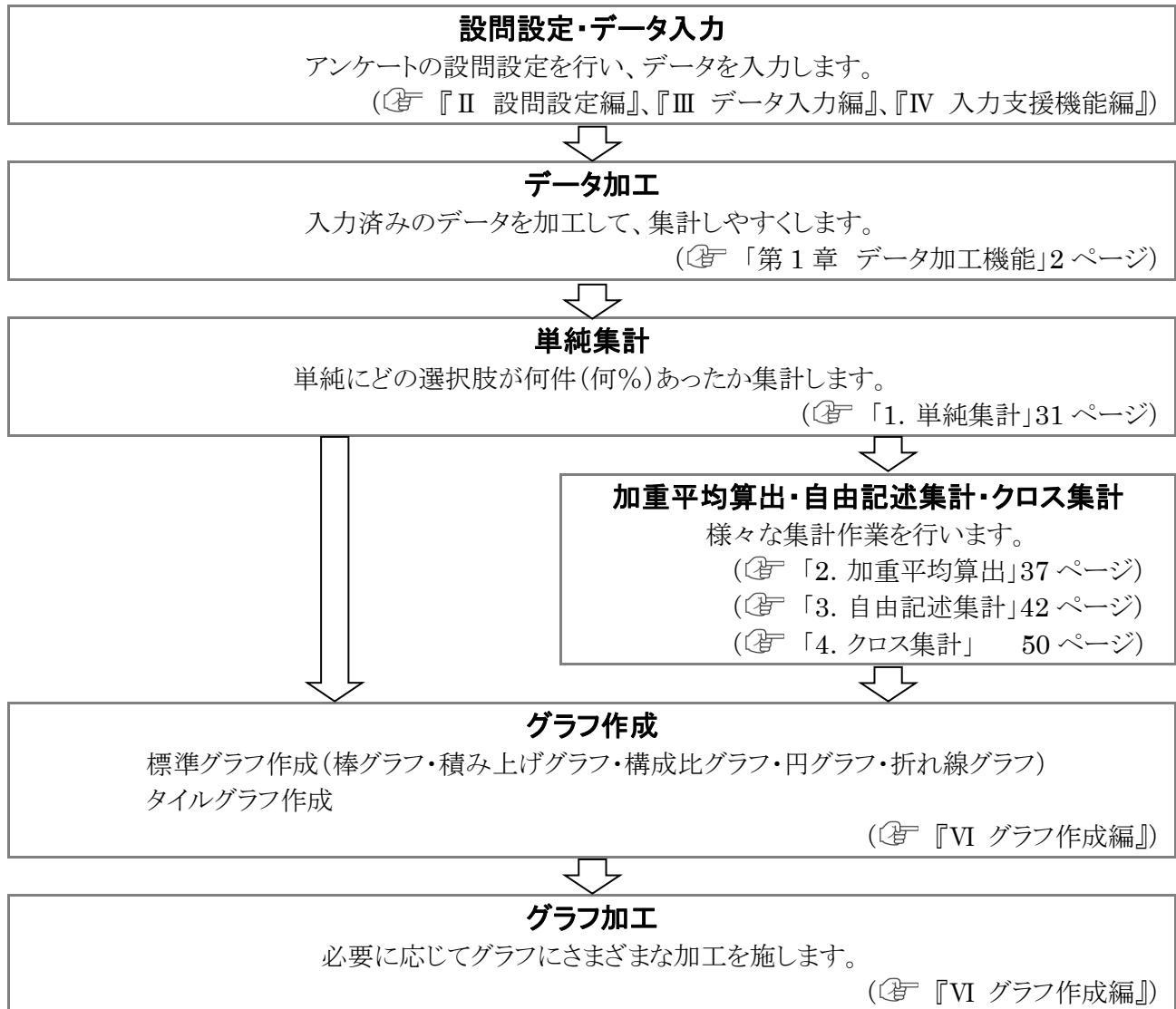
目次

目次	2
はじめに	1
第 1 章 データ加工機能	2
1. 選択肢を統合する	4
SA の選択肢統合	5
MA の選択肢統合	7
2. 数量回答を単数回答に変換する	9
3. 単数回答を複数回答に変換する	11
SA を MA に変換 (Yes or No からのみ)	11
同一選択肢の SA 設問を MA に変換 (積み上げ)	13
4. 単数回答を数量回答に変換する	14
5. 複数回答を単数回答に変換	16
MA を SA に変換 (Yes or No へ)	16
MA を SA に変換 (条件指定)	18
MA を SA に変換 (回答数)	20
6. 複数回答を数量回答に変換	22
MA を IN に変換	22
MA を IN に変換 (回答数)	24
7. データ加工に関連するその他の機能	25
「不明」の選択肢化	25
選択肢の不明化	26
「非該当」の選択肢化	27
項目の結合 (SA、MA)	28
項目のクロス (SA、MA)	29
第 2 章 集計	30
1. 単純集計	31
単純集計から読み取れること	35
2. 加重平均算出	37
加重平均算出の注意	40
[加重平均]シートの利用	41
3. 自由記述集計	42
[シソーラス]シートの利用	45
自由記述カテゴリ置換	47
4. クロス集計	50
クロス集計一覧表について	54
クロス集計の実行例	55
クロス集計表のページ設定	61
5. 集計に関連するその他の機能	62
設問一覧作成	62
設問一覧作成 (記号無)	63
カテゴリ置換	64
サンプル抽出	65
不明・非該当文字の変更	69
不明・非該当のカテゴリ名称の変更	70
並べ替え除外カテゴリの変更	71

はじめに

「田園 V3」は Microsoft Excel を使用して、アンケートの設問の設定、回収したアンケートのデータ入力、複雑な集計を簡単に行うためのツールです。

この分冊では、アンケートの集計方法を説明しています。次のような流れで集計を行うことができます。



第1章 データ加工機能

すでに入力済みのデータを加工して、集計しやすくすることができます。

この処理を行わなくても集計はできますが、回収した回答の状況などから設問を加工したほうがよりの確な集計結果を得ることができると判断した時などに、必要に応じて集計の前処理として行います。



データの加工を行うには、同じブック内に[設問設定]シートと[データソース]シートが必要です。



不要な加工結果を削除するには・・・

データ加工機能は、変換した設問を追加する機能しか提供しません。

変換の設定を間違え、不要な加工結果を追加してしまった場合は、[田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[設問設定作成編集]を選択して「設問設定作成編集」ウィンドウに該当の設問を表示し、[設問削除]ボタンをクリックして削除してください。

次のデータ加工を行うことができます。

データ加工の種類	説 明	操作方法
選択肢統合	複数の選択肢をひとつにまとめる。(SA) 例えば「とても好き」「どちらかといえば好き」「普通」「どちらかといえば嫌い」「とても嫌い」を「好き」「普通」「嫌い」にまとめる。	P.5
	複数の選択肢をひとつにまとめる。(MA) 例えば「うどん」「そば」「ハンバーグ」「ステーキ」「煮魚」「焼き魚」を「麺類」「肉料理」「魚料理」にまとめる。	P.7
SA を数量設問に変換	SA 設問を、それに回答した選択肢によって数量設問に変換する。 例えば、「1. 悪い」「2. やや悪い」「3. 普通」「4. やや良い」「5. 良い」という選択肢の SA 設問に対して、「1. 悪い」を数値の「1」に、「5. 良い」を数値の「5」に変換する。	P.14
数量設問を SA に変換	数量設問を、回答した値によって SA 設問に変換する。選択肢は数量をグループ化して指定する。 例えば年齢を数量として入力されたものを、「10 歳未満」「10 代」「20 代」「30 代」「40 代」「50 代」「60 歳以上」という選択肢に変換する。変換先の選択肢数は 1 つ以上任意である。	P.9
SA を MA に変換 (Yes or No からのみ)	例えば Q1 パソコンを持っている 1. はい 2. いいえ Q2 ビデオを持っている 1. はい 2. いいえ Q3 CD プレイヤーを持っている 1. はい 2. いいえ という複数の SA 設問を、 Q4 持っている AV 製品は？ 1. パソコン 2. ビデオ 3. CD プレイヤー というひとつの MA 設問に変換する。	P.11
同一選択肢の設問を MA に変換(積み上げ)	例えば Q1 最もよく行く商店街(SA) Q2 次によく行く商店街(SA) Q3 時々行く商店街(SA) という 3 つの SA 設問を、 Q4 よく行く商店街(最大回答数:3) というひとつの MA 設問に変換する。	P.13

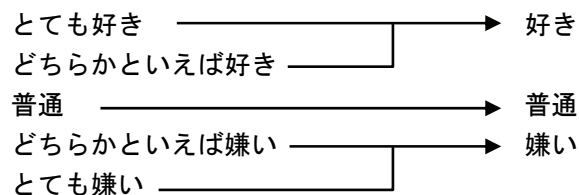
データ加工の種類	説 明	操作方法
MA を SA に変換 (Yes or No へ)	例えば Q1 持っている AV 製品は？ 1. パソコン 2. ビデオ 3. CD プレイヤー というひとつの MA 設問を、 Q2 パソコンを持っている 1. はい 2. いいえ Q3 ビデオを持っている 1. はい 2. いいえ Q4 CD プレイヤーを持っている 1. はい 2. いいえ という複数の SA 設問に変換する。	P.16
MA を SA に変換 (条件指定)	例えば、 Q1 持っている AV 製品は？ 1. パソコン 2. ビデオ 3. CD プレイヤー という設問を、 Q2 持っている AV 製品 1. パソコンのみ 2. パソコンとビデオ 3. パソコンと CD プレイヤー … という SA 設問に変換する。	P.18
MA を SA に変換 (回答個数)	MA 設問を、それに回答した数によって SA 設問に変換する。すべてばらばらにすることも可能だし、「1～5 個」「6～10 個」「11 個以上」といった選択肢にすることも可能である。	P.20
MA を数量設問に変換	MA 設問を、それに回答した選択肢によって数量設問に変換する。 例えば、「1. 麺類」「2. 肉料理」「3. 魚料理」「4. 野菜」「5. 果物」という 選択肢の MA 設問に対して、「1. 麺類」を数値の「1」に、「5. 果物」を数 値の「5」に変換する。あるサンプルにおいて、「1. 麺類」と「5. 果物」が 回答されていれば、その変換結果は回答番号の和の「6」である。	P.22
MA を数量設問に変換 (回答個数)	MA 設問を、それに回答した数によって数量設問に変換する。	P.24
不明の選択肢化	「不明」という選択肢を増やし、不明回答をこれに変換する。これにより、 真の不明回答はなくなる。 選択肢の文字列は任意に設定できる。	P.25
選択肢の不明化	特定の選択肢を不明扱いにする。明らかにおかしい選択肢が用意され てしまった時の処理用である。	P.26
非該当のカテゴリ化	「非該当」という選択肢を増やし、非該当回答をこれに変換する。 選択肢の文字列は任意に設定できる。	P.27
項目の結合 (SA、MA)	複数の設問をまとめ、その選択肢の項目を統合します。 例えば、 Q1 好きな食べ物 1. 麺類 2. 肉料理 3. 魚料理 Q2 好きな飲み物 1. ジュース 2. コーラ 3. 牛乳 という設問を、 Q3 好きな飲食物 1. 麺類 2. 肉料理 3. 魚料理 4. ジュース 5. コーラ 6. 牛乳 という設問に変換する。	P.28
項目のクロス (SA、MA)	複数の設問をクロスさせて新しい設問に変換します。 例えば、 Q1 性別 1. 男性 2. 女性 Q2 婚姻 1. 既婚 2. 未婚 という設問を、 Q3 性別・婚姻 1. 男性・既婚 2. 男性・未婚 3. 女性・既婚 4. 女性・未婚 という設問に変換する。	P.29

1. 選択肢を統合する

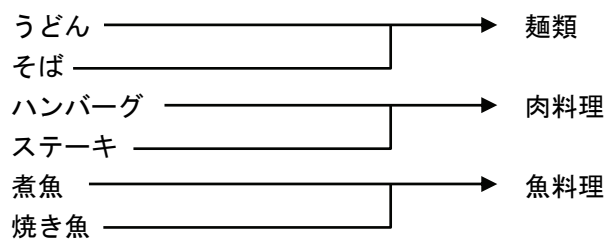
複数の選択肢を一つにまとめることができます。

例えば、次のようにまとめることができます。

例：



例：

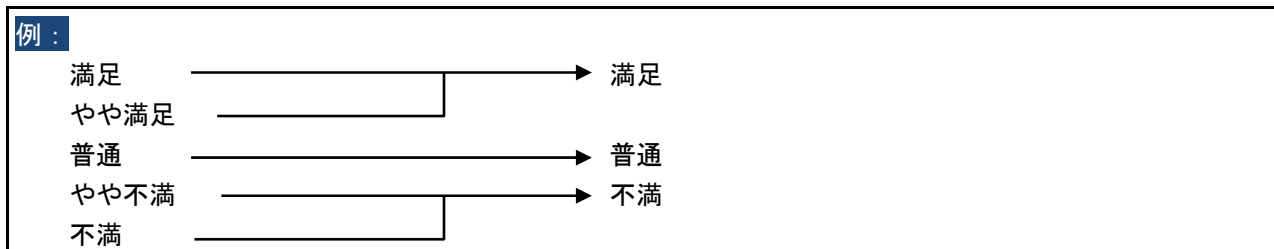


選択肢の統合には、次のルールがあります。

- まとめる元の選択肢数は、いくつでもかまいません。
- まとめる先の選択肢数は、まとめる元の選択肢数以下であればいくつでもかまいません。

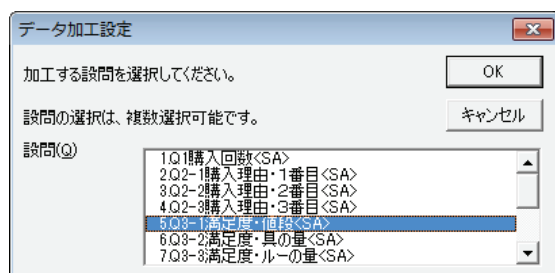
SA の選択肢統合

複数の選択肢を一つにまとめることができます。



①[田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[選択肢統合表作成]を選択します。

②「データ加工設定」ウィンドウで、加工したい設問を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。
- 加工する複数の設問をまとめて選択してもかまいません。

選択した設問が含まれた[選択肢統合]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		各設問の設問番号が記されている列に、統合結果となる選択肢文字列を記入してください。									
2		【元カテゴリ】と記されている列に、元の選択肢番号を半角カンマで区切って記入してください。									
3		<MA>をまとめる場合は、10行目に、OR または、AND をセットして下さい。									
4		B 列～C 列は設定例です。ここを変更しても、処理の対象にはなりません。									
5		例			5						
6		<SA>			<SA>						
7		Q0			Q3-1						
8		顧客満足度【元カテゴリ】			満足度・値段【元カテゴリ】						
9		(3)			(5)						
10											
11	統合カテゴリ	満足	1,2								
12		普通	3								
13		不満	4,5								
14											
15											

③ 統合後の選択肢文を必要な数だけ入力します。

- 統合後の選択肢数は、まとめる元の選択肢数以下であればいくつでも入力できます。

④【元カテゴリ】と記述されている列に統合したい元のカテゴリ番号を半角で入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		各設問の設問番号が記されている列に、統合結果となる選択肢文字列を記入してください。									
2		【元カテゴリ】と記されている列に、元の選択肢番号を半角カンマで区切って記入してください。									
3		<MA>をまとめる場合は、10行目に、OR または、AND をセットして下さい。									
4		B列～C列は設定例です。ここを変更しても、処理の対象にはなりません。									
5		例			5						
6		<SA>			<SA>						
7		Q0			Q3-1						
8		顧客満足度【元カテゴリ】			満足度・値段【元カテゴリ】						
9		(3)			(5)						
10											
11	統合カテゴリ	満足	1,2		満足	1,2					
12		普通	3		普通	3					
13		不満	4,5		不満	4,5					
14											
15											

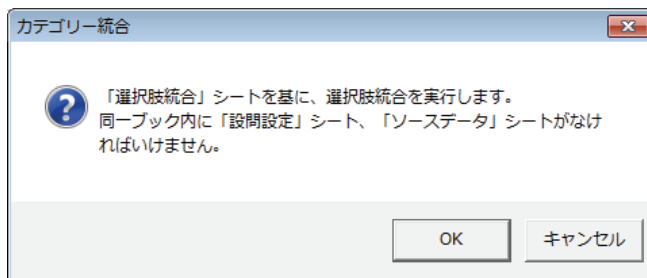
- カテゴリー番号は、「設問設定」シート、または「設問一覧」シートを参照しながら設定します。
- 「設問設定」シートの上から設問ごとに、1 から順に番号をつけたものを、「選択肢統合」シートの「【元カテゴリ】」の列に入力します。

[設問設定]シート		[選択肢統合]シートに 入力するときの番号	
34	5 Q3-1 満足度・値段		
35	5 満足	→1	
36	5 やや満足	→2	
37	5 普通	→3	
38	5 やや不満	→4	
39	5 不満	→5	

- ひとつの新カテゴリに複数の旧カテゴリを統合する場合は、カテゴリ番号を半角カンマで区切って入力します。

⑤ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[選択肢統合実行]を選択します。

⑥ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[選択肢統合]シートの設定に従ってカテゴリが統合され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートにカテゴリを統合した設問が追加されます。

	A	B	C	D	E
93	13	インスタントうどん・そば			
94	13	その他			
95	14	Q5-1よく買う簡単調理食品・そ	F	A	
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q3-1 満足度・値段(加工)	S	1	3
101	17	満足			
102	17	普通			
103	17	不満			
104	[EOF]				
105					
106	↑この[EOF]は、削除しないでください。				

	A	O	P	Q	R	S
1	h					
2						
3						
4						
5						
6		13	14	15	16	17
7		<MA> Q5 よく買う 簡単調理 食品	<FA> Q5-1 よく買う 簡単調理 食品・そ その他	<IN> Q6 年齢	<SA> Q7 性別	<QA> Q3-1 満足度・ 値段(加 工)
8	サンプル 番号	(13)	(1)	(1)	(2)	(3)
9						
10						
11	1	1,3,7	P	27	N	1
12	2	1,7,8	P	42	2	2
13	3	1,5,10	P	89	1	8

MA の選択肢統合

複数の選択肢をひとつにまとめることができます。

複数回答(MA)をまとめる場合は、AND 条件か OR 条件かを設定します。

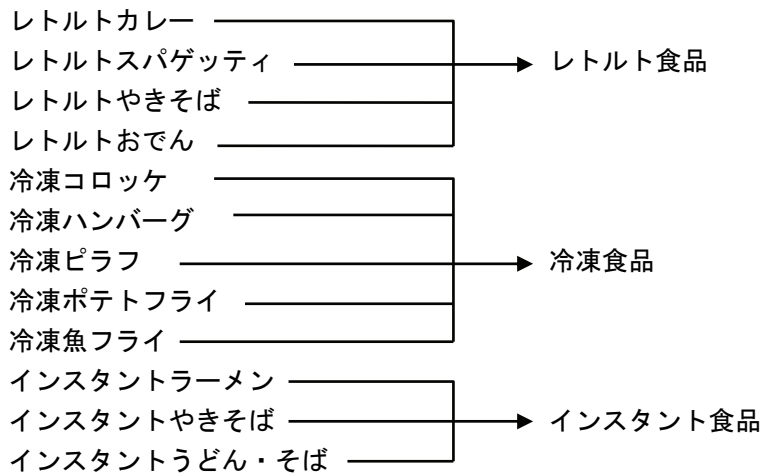
- AND

指定した元のカテゴリすべてを選択している場合に、新しい選択肢に統合します。

- OR

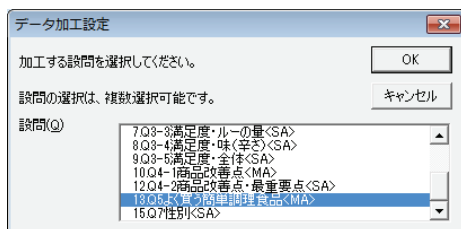
指定した元のカテゴリのいずれかを選択している場合に、新しい選択肢に統合します。

例：



① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[選択肢統合表作成]を選択します。

② 「データ加工設定」ウィンドウで、加工したい設問を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。
- 加工する複数の設問をまとめて選択してもかまいません。

選択した設問が含まれた[選択肢統合]シートが作成されます。

③ 統合後の選択肢文を必要な数だけ入力します。

- 統合後の選択肢数は、まとめる元の選択肢数以下であればいくつでも入力できます。

④ 【元カテゴリー】と記述されている列に統合したい元のカテゴリー番号を半角で入力します。

- カテゴリー番号は、「設問設定」シート、または「設問一覧」シートを参照しながら設定します。
- [設問設定]シートの上から設問ごとに、1 から順に番号をつけたものを、[選択肢統合]シートの「【元カテゴリー】」の列に入力します。
- ひとつの新カテゴリーに複数の旧カテゴリーを統合する場合は、カテゴリー番号を半角カンマで区切って入力します。
- 今回の例では Q5 を「レトルト食品」「冷凍食品」「インスタント食品」の 3 種類に統合しています。

⑤ 「選択肢統合」シートの 10 行目に、統合の条件を「AND」または「OR」と入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		各設問の設問番号が記されている列に、統合結果となる選択肢文字列を記入してください。									
2		【元カテゴリー】と記されている列に、元の選択肢番号を半角カンマで区切って記入してください。									
3		<MA>をまとめる場合は、10行目に、OR または、AND をセットして下さい。									
4		B 列～C 列は設定例です。ここを変更しても、処理の対象にはなりません。									
5		例			13						
6		<MA>			<MA>						
7		Q0			Q5						
8		好きな料理・食料【元カテゴリー】			簡単調理食【元カテゴリー】						
9		(1)			(12)						
10		OR			OR						
11	統合カテゴリー	麺類	1,2		レトルト食品	1,2,3,4					
12		肉料理	3		冷凍食品	5,6,7,8,9					
13		魚料理	4,5		インスタント食品	10,11,12					
14											
15											

● AND

指定した元のカテゴリすべてを選択している場合に、新しい選択肢に統合します。

● OR

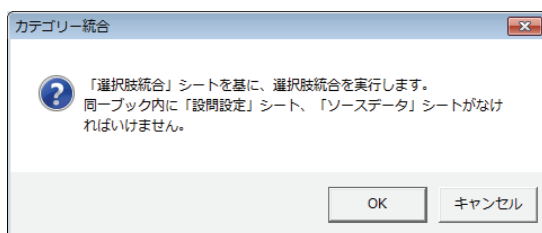
指定した元のカテゴリのいずれかを選択している場合に、新しい選択肢に統合します。

○: 選択されている ×: 選択されていない

インスタントラーメン	○	○	○	×	○	×	×	×
インスタントやきそば	○	○	×	○	×	○	×	×
インスタントうどん・そば	○	×	○	○	×	×	○	×
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
AND 条件のとき インスタント食品に	まとめる	まとめない	まとめない	まとめない	まとめない	まとめない	まとめない	まとめない
OR 条件のとき インスタント食品に	まとめる	まとめる	まとめる	まとめる	まとめる	まとめる	まとめる	まとめない

⑥ [田園 V3]ー[データ加工・集計]ー[データ加工]ー[選択肢統合実行]を選択します。

⑦ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[選択肢統合]シートの設定に従ってカテゴリーが統合され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートにカテゴリーを統合した設問が追加されます。

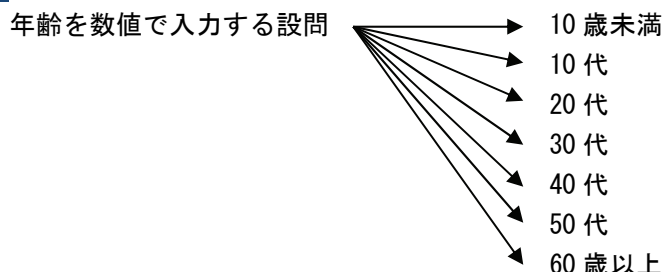
	A	B	C	D	E
96	15 Q6年齢		I	6	120
97	16 Q7性別		S	1	2
98	16 男性				
99	16 女性				
100	17 Q3-1 満足度・値段(加工)		S	1	3
101	17 満足				
102	17 普通				
103	17 不満				
104	18 Q5よく買う簡単調理食品(加工)	M		1	3
105	18 レトルト食品				
106	18 冷凍食品				
107	18 インスタント食品				
108	[EOF]				
109					

	A	P	Q	R	S	T
1	h					
2						
3						
4						
5		14	15	16	17	18
6		<FA>	<IN>	<SA>	<SA>	<MA>
7		Q5-1	Q6	Q7	Q3-1	Q5
8		よく買う簡単調理食品・その他	年齢	性別	満足度・値段(加工)	よく買う簡単調理食品(加工)
9	サンプル番号	(1)	(1)	(2)	(3)	(3)
10						
11	1	P	27	N	1	1,2
12	2	P	42	2	2	1,2
13	3	P	23	1	1	

2. 数量回答を単数回答に変換する

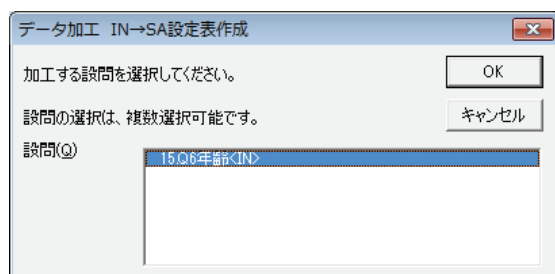
数量回答設問を値によってグループ化し、単数回答(SA)設問に変換します。

例：



①[田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[IN→SA 設定表作成]を選択します。

②「データ加工 IN→SA 設定表作成」ウィンドウで、加工したい設問を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。
- 加工する複数の設問をまとめて選択してもかまいません。

選択した設問が含まれた[IN→SA 設定表]シートが作成されます。

③ 統合後の選択肢文を必要な数だけ入力します。

- 選択肢は、必要なだけ作成できます。

④【元カテゴリー】と記載されている列に、そのグループに統合する数値の下限値を入力し、その右側の列に上限値を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		各設問の設問番号が記されている列に、統合結果となる選択肢文字列を記入してください。									
2		【元カテゴリー】と記されている列に、 下限値(以上) と 上限値(未満/以下) を記入してください。									
3		上限値は、ひとつ下の下限値と同じであれば(未満)、小さければ(以下)と解釈します。									
4		B列～D列は設定例です。ここを変更しても、処理の対象にはなりません。									
5		例				15					
6		<IN>				<IN>					
7		Q6				Q6					
8		年齢	【元カテゴリー】			年齢	【元カテゴリー】				
9		(1)	下限値	下限値		(1)	下限値	上限値			
10			(以上)	(未満/以下)			(以上)	(未満/以下)			
11	統合カテゴリー	10歳未満	6	10		幼児	0	6			
12		10代	10	20		小学生	7	12			
13		20代	20			中学生	13	15			
14		30代	30			高校生	16	18			
15		40代	40	50		大学生	19	22			
16		50歳以上	50	100		社会人	23	59			
17						シニア層	60	100			
18											

● 上限値の以下と未満について

下図左のように入力すると、上限値は「以下」という意味になります。

また、前の行の上限値を次の行の下限值と同じ値にすることもできます。この場合、上側の項目の上限値は「未満」という意味になります。例えば「23」という値は「社会人」に分類されます。

15		
<IN>		
Q6		
年齢	【元カテゴリ】	
(1)	下限値	上限値
	(以上)	(未満/以下)
幼児	0	6
小学生	7	12
中学生	13	15
高校生	16	18
大学生	19	22
社会人	23	59
シニア層	60	100

次の行の下限值と重複しない場合は、以下

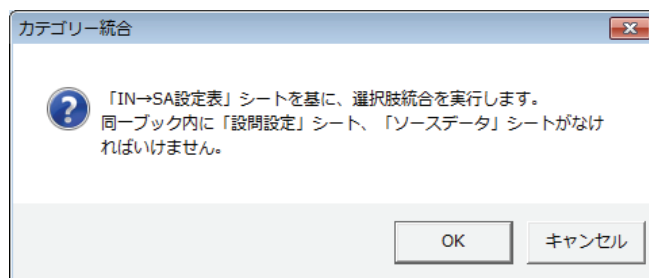
15		
<IN>		
Q6		
年齢	【元カテゴリ】	
(1)	下限値	上限値
	(以上)	(未満/以下)
幼児	0	7
小学生	7	13
中学生	13	16
高校生	16	19
大学生	19	23
社会人	23	60
シニア層	60	100

次の行の下限值と同じ場合は、未満

- 最も小さな値の下限值(上図の例では「0」と、最も大きな値の上限値(上図の例では「100」)は省略してもかまいません。

⑥ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[IN→SA 実行]を選択します。

⑦ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[選択肢統合]シートの設定に従って設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
95	14	Q5-1よく買う簡単調理食品・そ	F	A	
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q6年齢(IN→SA)	S	1	7
101	17	幼児			
102	17	小学生			
103	17	中学生			
104	17	高校生			
105	17	大学生			
106	17	社会人			
107	17	シニア層			
108	[EQF]				

	A	O	P	Q	R	S
1	h					
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8	サンプル	13	14	15	16	17
9	番号	<MA>	<FA>	<IN>	<SA>	<SA>
10		Q5	Q5-1	Q6	Q7	Q8
11		よく買う	よく買う	年齢	性別	年齢 (IN
12		簡単調理	簡単調理			→SA)
13		食品	食品・そ			
14		(13)	(1)	(1)	(2)	(7)
15	1	1,3,7	P	27	N	6
16	2	1,7,8	P	42	2	6
17	3	1,5,10	P	28	1	6

3. 単数回答を複数回答に変換する

SA を MA に変換 (Yes or No からのみ)

単数回答 (SA) 設問を複数回答 (MA) 設問に変換することができます。

例： (この例はサンプルファイルの内容とは異なります。)

Q1 パソコンを持っている 1. はい 2. いいえ
Q2 デジタルカメラを持っている 1. はい 2. いいえ
Q3 DVD プレーヤーを持っている 1. はい 2. いいえ



Q4 持っているAV製品
1. パソコン
2. デジカメ
3. DVD プレーヤー

- 変換元の SA 設問はふたつの選択肢を持つものに限られます
- 設問元の SA 設問に対する該当チェックは考慮しません。
- 変換元の SA 設問の指定できる個数は最大 99 問までです。

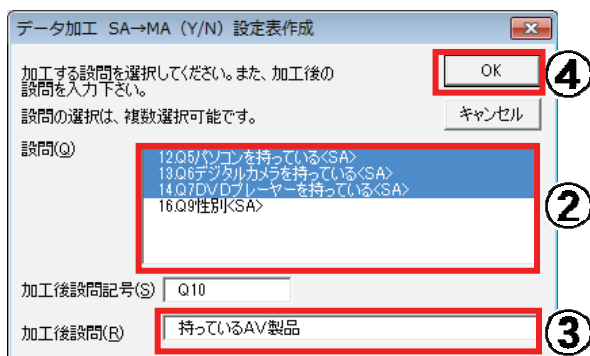
① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[SA→MA(Y/N)設定表作成]を選択します。

② 「SA→MA(Y/N)設定表作成」ウィンドウで、MA 設問に変換する設問を選択します。

- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

③ [加工後設問]の欄に加工後の設問文を入力します。

④ [OK]ボタンをクリックします。



自動的に[SA→MA (Y・N) 設定表]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
9														
10		例				12			13			14		
11		<SA>				<SA>			<SA>			<SA>		
12		Q0				Q5			Q6			Q7		
13		パソコン	【元カテゴリ】			パソコンを持って【元カテゴリ】			カメラを持って【元カテゴリ】			プレーヤーを持【元カテゴリ】		
14		(2)				(2)			(2)			(2)		
15														
16	統合カテゴリ	パソコン	1											
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														

⑤ 統合後の選択肢文を入力します。

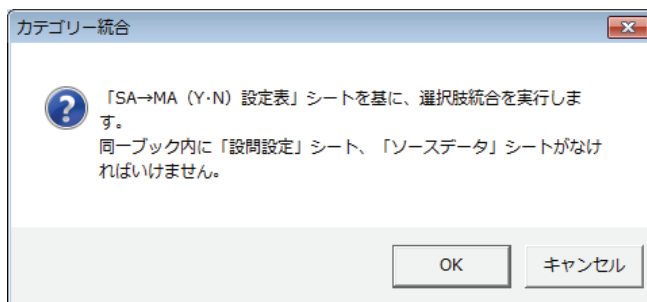
⑥ 【元カテゴリー】と記載されている列に、Yes として扱う選択肢番号を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
9														
10		例				12			13			14		
11		<SA>				<SA>			<SA>			<SA>		
12		Q0				Q5			Q6			Q7		
13		パソコン	【元カテゴリー】			パソコンを持って	【元カテゴリー】		カメラを持って	【元カテゴリー】		プレイヤーを持って	【元カテゴリー】	
14		(2)				(2)			(2)			(2)		
15														
16	統合カテゴリー	パソコン	1			パソコン	1		デジカメ	1		DVDプレイヤー	1	
17						⑤	⑥		⑤	⑥		⑤	⑥	
18														
19														
20														
21														
22														
23														

● 選択肢1「する」を Yes とみなしますので、【元カテゴリー】列にそれぞれ「1」と入力します。

⑦ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[SA→MA(Y/N)実行]を選択します。

⑧ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[SA→MA(Y/N)設定表]シートの設定に従って設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C		A	N	O	P	Q	R	S
77	13 はい			1	h						
78	13 いいえ			2							
79	14 Q7DVDプレイヤーを持っているS			3							
80	14 はい			4							
81	14 いいえ			5							
82	15 Q8年齢	I		6							
83	16 Q9性別	S		7							
84	16 男性			8	サンプル						
85	16 女性			9	番号						
86	17 Q10持っているAV製品(SA→NM			10							
87	17 パソコン			11							
88	17 デジカメ			12							
89	17 DVDプレイヤー			13							
90	[EOF]										

同一選択肢の SA 設問を MA に変換（積み上げ）

同一の選択肢を持つ複数の設問を、一つの MA 設問に変換することができます。

例：

Q2-1 購入理由・1 番目 (SA)

Q2-2 購入理由・2 番目 (SA)

Q2-3 購入理由・3 番目 (SA)



Q8 購入理由（最大回答数：3）

- 変換元の SA 設問の指定できる個数は最大 99 設問までです。
- SA 設問と MA 設問が混ざった設問を一つの MA 設問に変換することも可能です。
 Q5 最もよく行く商店街 (SA)
 Q6 それ以外によく行く商店街 (MA) } ⇒ Q7 よく行く商店街 (複数回答)

① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[SA→MA(積上)複数]を選択します。

②「SA→MA(積上)認定表作成」ウィンドウで、統合したい設問を選択します。

- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

③ [加工後設問]の欄に加工後の設問文を入力します。

④ [OK]ボタンをクリックします。

自動的に選択された設問の統合が行われ、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに設問が追加されます。

	A	B	C	D	E
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q8この商品を購入した理由 (S/M)		1	8
101	17	前回食べておいしかったから			
102	17	店で試食をしておいしかったから			
103	17	値段が安かったから			
104	17	お店の人に勧められて			
105	17	友人に勧められて			
106	17	評判が良かったから			
107	17	パッケージが気に入ったから			
108	17	TVコマーシャルを見て			
109	[EOF]				

	A	O	P	Q	R	S
1	h					
2						
3						
4						
5		13	14	15	16	17
6		<MA>	<FA>	<IN>	<SA>	<MA>
7		Q5	Q5-1	Q6	Q7	Q8
8		よく買う	よく買う	年齢	性別	この商品
9		簡単調理	簡単調理			を購入し
10		食品	食品・そ			た理由
11			その他			(SA→
12	サンプル	(13)	(1)	(1)	(2)	MA)
13	番号					(8)
14						
15	1	1,3,7	P	27	N	1,3,5
16	2	1,7,8	P	42	2	1,4,5

4. 単数回答を数量回答に変換する

単数回答 (SA) 設問を、それに回答した選択肢によって数量回答 (IN) 設問に変換します。

例：

Q 満足度 (単数回答)

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満



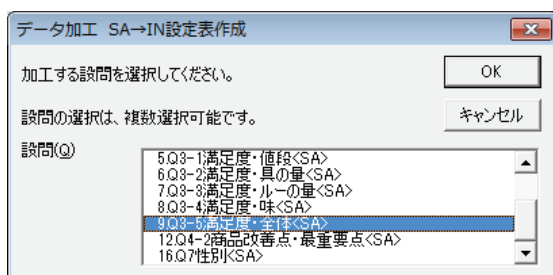
Q 満足度 (単数回答)

満足=10、やや満足=8、普通=5、
やや不満=3、不満=1
を入力します。

- 数値の割り当ては、任意の数値を割り当てることができます。

① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[SA→IN 設定表作成]を選択します。

②「SA→IN 設定表作成」ウィンドウで、数量設問に変換したい設問を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

自動的に[SA→IN 設定表]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		【数値】と記されている列に、選択肢に割り当てる数値を記入してください。									
2		B列～C列は設定例です。ここを変更しても、処理の対象にはなりません。									
3											
4											
5		例			9						
6		<IN>			<SA>						
7		Q0			Q3-5						
8		顧客満足度	【数値】		満足度・全体	【数値】					
9		(1)			(5)						
10											
11	統合カテゴリー	満足	1		満足						
12		普通	5		やや満足						
13		不満	10		普通						
14					やや不満						
15					不満						

設問番号の列には、変換対象の設問の選択肢が一覧表示されています。

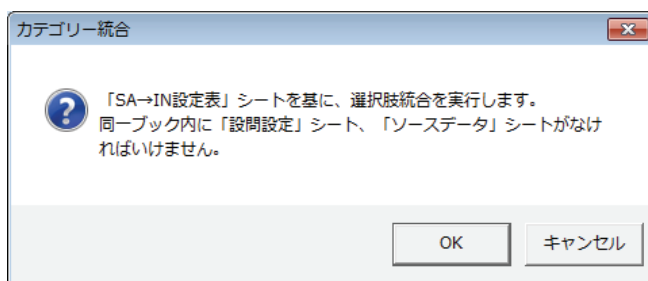
③【数値】の列にその回答に割り当てる値を入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		【数値】と記されている列に、選択肢に割り当てる数値を記入してください。									
2		B列～C列は設定例です。ここを変更しても、処理の対象にはなりません。									
3											
4											
5		例			9						
6		<IN>			<SA>						
7		Q0			Q3-5						
8		顧客満足度	【数値】		満足度・全体	【数値】					
9		(1)			(5)						
10											
11	統合カテゴリー	満足	1	満足		10					
12		普通	5	やや満足		8					
13		不満	10	普通		5					
14				やや不満		3					
15				不満		1					

- 数字の前に「-」を入力すると負の数字も割り当てることができます。

④ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[SA→IN 実行]を選択します。

⑤ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[SA→IN 設定表]シートの設定に従って設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
88	13 冷凍ピラフ				
89	13 冷凍ポテトフライ				
90	13 冷凍魚フライ				
91	13 インスタントラーメン				
92	13 インスタントやきそば				
93	13 インスタントうどん・そば				
94	13 その他				
95	14 Q5-1よく買う簡単調理食品・そ	F	A		
96	15 Q6年齢	I		6	120
97	16 Q7性別	S		1	2
98	16 男性				
99	16 女性				
100	17 Q3-5満足度・全体(SA→IN)	I		1	10
101	[EQF]				

	A	O	P	Q	R	S
1	h					
2						
3						
4						
5		13	14	15	16	17
6		<MA>	<FA>	<IN>	<SA>	<IN>
7		Q5	Q5-1	Q6	Q7	Q3-5
8		よく買う	よく買う	年齢	性別	満足度・
9		簡単調理	簡単調理			全体 (SA
10		食品	食品・そ			→ IN)
11	サンプル	(13)	(1)	(1)	(2)	(1)
12	番号					
13	1	1,3,7	P	27	N	5
14	2	1,7,8	P	42	2	5
15	3	1,5,10	P	20	1	8

5. 複数回答を単数回答に変換

MA を SA に変換 (Yes or No へ)

MA の設問を SA (Yes or No) に変換することができます。

例：

Q1. 持っているAV製品は？

1. パソコン
2. ビデオ
3. CDプレイヤー

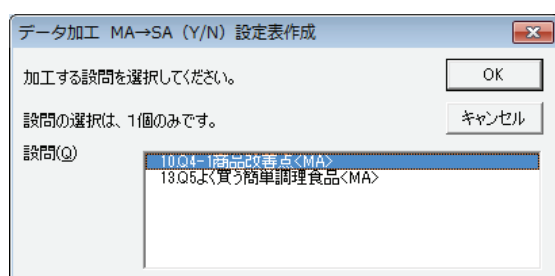


- | | | |
|-------------------|-------|--------|
| Q2. パソコンを持っている | 1. はい | 2. いいえ |
| Q3. ビデオを持っている | 1. はい | 2. いいえ |
| Q4. CDプレイヤーを持っている | 1. はい | 2. いいえ |

- 変換元の MA 設問が非該当である場合は、変換先の SA 設問も非該当になります。
- 変換元の MA 設問に許される最大選択肢数は 99 個までです。

① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→SA(Y/N)設定表作成]を選択します。

② 「データ加工 SA→MA(Y/N)設定表作成」ウィンドウで、SA 設問に変換する設問を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

自動的に[MA→SA(Y/N)設定表]シートが作成されます。

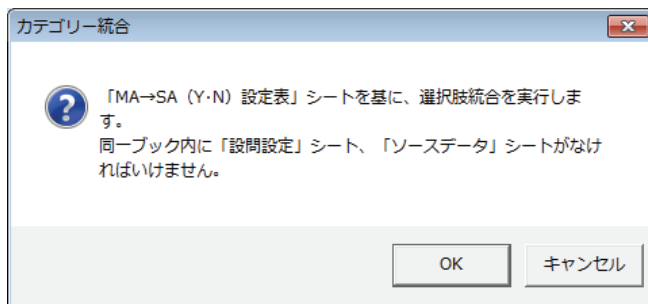
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		各設問の設問記号と設問は、必要により変更して下さい。							
2		行毎の入れ替え、及び、行削除も可能です。途中の行を削除した場合は、上段に詰めて下さい。							
3		B列～D列は設定例です。ここを変更しても、処理の対象にはなりません。							
4									
5			例				10		
6			<SA>				<MA>		
7			Q0				Q4-1		
8			持っているAV製品				商品改善点	元カテゴリー	
9			(1)				(7)		
10		設問記号	設 問	設定値	設問記号	設 問	設定値		
11	統合カテゴリー	Q0-1	パソコンを持っている	1	Q4-1-1	もっと味を濃くする	1		
12		Q0-2	ビデオを持っている	2	Q4-1-2	もっと味をマイルドにする	2		
13		Q0-3	CDプレイヤーを持っている	3	Q4-1-3	もっと具の量を増やす	3		
14					Q4-1-4	もっと具の種類を増やす	4		
15					Q4-1-5	ルーの内容量を増やす	5		
16					Q4-1-6	味の種類を増やす	6		
17					Q4-1-7	その他	7		

③ 必要に応じて、設問記号や設問を変更します。

- 途中の行を削除した場合は、上段に詰めてください。

⑥ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→SA(Y/N)実行]を選択します。

⑦ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



MA→SA(Y/N)設定表]シートの設定に従って設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
97	16	Q7性別	S	1	2						
98	16	男性									
99	16	女性									
100	17	Q4-1-1もっと味を濃くする(MA→SA)		1	2						
101	17	はい									
102	17	いいえ									
103	18	Q4-1-2もっと味をマイルドにする(S)		1	2						
104	18	はい									
105	18	いいえ									
106	19	Q4-1-3もっと具の量を増やす(S)		1	2						
107	19	はい									
108	19	いいえ									
109	20	Q4-1-4もっと具の種類を増やす(S)		1	2						
110	20	はい									
111	20	いいえ									
112	21	Q4-1-5ルーの内容量を増やす(S)		1	2						
113	21	はい									
114	21	いいえ									
115	22	Q4-1-6味の種類を増やす(MA→SA)		1	2						
116	22	はい									
117	22	いいえ									
118	23	Q4-1-7その他(MA→SA)	S	1	2						
119	23	はい									
120	23	いいえ									
121	[EOF]										

	A	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
1	h									
2										
3										
4										
5		16	17	18	19	20	21	22	23	
6		<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	
7		Q7性別	Q4-1-1もっと味を濃くする(MA→SA)	Q4-1-2もっと味をマイルドにする(MA→SA)	Q4-1-3もっと具の量を増やす(MA→SA)	Q4-1-4もっと具の種類を増やす(MA→SA)	Q4-1-5ルーの内容量を増やす(MA→SA)	Q4-1-6味の種類を増やす(MA→SA)	Q4-1-7その他(MA→SA)	
8	サンプル番号	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	
10										
11	1	N	P	P	P	P	P	P	P	
12	2	2	P	P	P	P	P	P	P	
13	3	1	P	P	P	P	P	P	P	
14	4	1	P	P	P	P	P	P	P	
15	5	2	P	P	P	P	P	P	P	
16	6	2	2	1	1	2	1	2	2	
17	7	2	P	P	P	P	P	P	P	
18	8	1	P	P	P	P	P	P	P	
19	9	2	1	2	1	2	1	2	2	
20	10	2	P	P	P	P	P	P	P	
21	11	2	2	2	2	2	2	2	1	
22	12	2	P	P	P	P	P	P	P	
23	13	2	P	P	P	P	P	P	P	
24	14	1	P	P	P	P	P	P	P	

MA を SA に変換（条件指定）

MA の設問を条件付きの SA に変換することができます。

例：

Q1. 持っているAV製品は？（複数回答）

1. パソコン
2. ビデオ
3. CDプレーヤー



Q2 持っているAV製品は？（単数回答）

1. パソコンのみ
2. パソコンとビデオ
3. パソコンとCDプレーヤー

- 新しい設問の選択肢は、元の選択肢を組み合わせて作ります。
- どのように組み合わせるかは任意に指定することができます。
- 変換先の最大選択肢数は、変換元の MA 設問の選択肢数をnとした場合、 2^n-1 、または、249 個です。
- どの組み合わせにも該当しないサンプルのために自動的に「それ以外」というカテゴリーが追加されます。

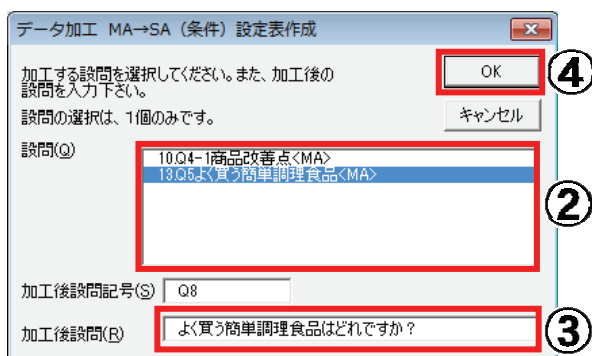
① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→SA(条件)設定表作成]を選択します。

② 「MA→SA(条件)設定表作成」ウィンドウで、SA 設問に変換する設問を選択し

- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

③ [加工後設問]の欄に加工後の設問文を入力します。

④ [OK]ボタンをクリックします。



自動的に[MA→SA(条件)設定表]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
9								
10		例				13		
11		<MA>				<MA>		
12		Q0				Q5		
13		持っているAV製品				よく買う簡単調理食品	【元カテゴリー】	
14		(3)				(13)		
15								
16	統合カテゴリー	パソコンのみ	1					
17		パソコンとビデオ	1,2					
18		パソコンとCDプレーヤー	1,3					
19		ビデオとCDプレーヤー	2,3					
20		パソコンとビデオとCDプレーヤー	1,2,3					
21								
22								
23								

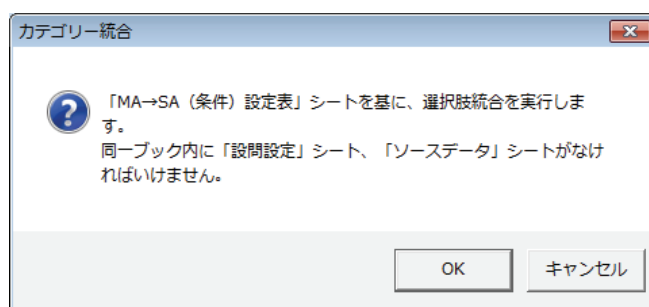
⑤ 設問番号の列に選択肢文を入力します。

⑥【元カテゴリー】と記載されている列に、その組み合わせを数値で入力します。

	A	B	C	D	E	F	G
9							
10		例				13	
11		<MA>				<MA>	
12		Q0				Q5	
13		持っているAV製品				よく買う簡単調理食品	【元カテゴリー】
14		(3)				(13)	
15							
16	統合カテゴリー	パソコンのみ		1		レトルト食品のみ	1
17		パソコンとビデオ	1,2			冷凍食品のみ	2
18		パソコンとCDプレイヤー	1,3			インスタント食品のみ	3
19		ビデオとCDプレイヤー	2,3			レトルト食品とインスタント食品のみ	1,3
20		パソコンとビデオとCDプレイヤー	1,2,3			レトルト食品と冷凍食品のみ	1,2
21						冷凍食品とインスタント食品	2,3
22						全ての簡単調理食品	1,2,3
23							

⑦ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→SA(条件)実行]を選択します。

⑧ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[MA→SA(条件)設定表]シートの設定に従って設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q8よく買う簡単調理食品はどれか？		1	8
101	17	レトルト食品のみ			
102	17	冷凍食品のみ			
103	17	インスタント食品のみ			
104	17	レトルト食品とインスタント食品のみ			
105	17	レトルト食品と冷凍食品のみ			
106	17	冷凍食品とインスタント食品			
107	17	全ての簡単調理食品			
108	17	それ以外			
109	[EOF]				

	A	O	P	Q	R	S
1	h					
2						
3						
4						
5		13	14	15	16	17
6		<MA>	<FA>	<IN>	<SA>	<SA>
7		Q5	Q5-1	Q6	Q7	Q8
		よく買う簡単調理食品	よく買う簡単調理食品・その他	年齢	性別	よく買う簡単調理食品はどれか？(MA→SA)
8	サンプル					
9	番号	(13)	(1)	(1)	(2)	(8)
10						
11	1	1,3,7	P	97	N	N

MA を SA に変換（回答数）

ある MA 設問で選択した選択肢の数が回答となる SA 設問を追加します。

1 刻みで答えとなる可能性のある数すべてを選択肢にしたり、「1～5 個」「6～10 個」「11 個以上」のように範囲を選択肢にしたりできます。

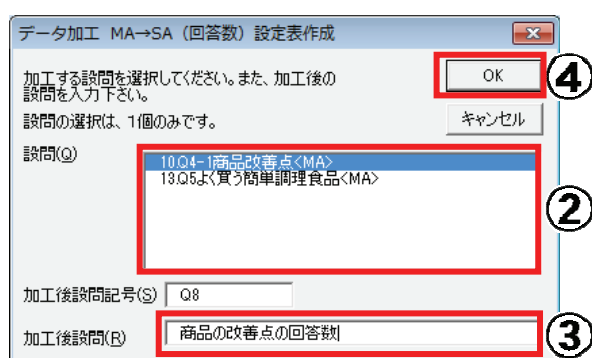
① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→SA(回答数)設定表作成]を選択します。

② 「データ加工 SA→MA(回答数)設定表作成」ウィンドウで、SA 設問に変換する設問を選択します。

- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

③ [加工後設問]の欄に加工後の設問文を入力します。

④ [OK]ボタンをクリックします。



自動的に[MA→SA(回答数)設定表]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
9											
10		例				10					
11		<MA>				<MA>					
12		Q0				Q4-1					
13		持っているAV製【元カテゴリー】				商品改善点	【元カテゴリー】				
14		(5)				(7)					
15											
16	統合カテゴリー	1～5個	<=5								
17		6～10個	<=10								
18		11 個以上	>=11								
19											
20											
21											
22											
23											

⑤ 設問番号の列に変換する設問を入力します。

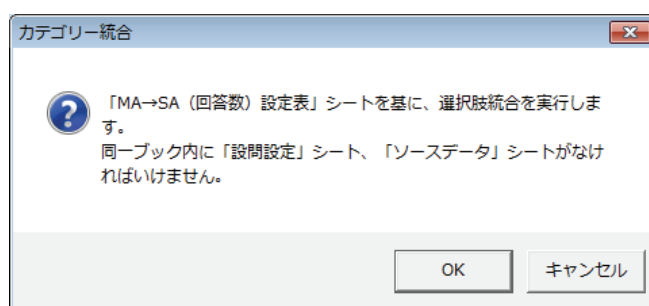
⑥ 【元カテゴリー】と記載されている列に、SA に変換する範囲を入力します。

演算子	意味
=	等しい
>	より大きい
<	より小さい
>=	以上
<=	以下

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
9											
10		例				10					
11		<MA>				<MA>					
12		Q0				Q4-1					
13		持っているAV製品【元カテゴリ】				商品改善点	【元カテゴリ】				
14		(5)				(7)					
15											
16	統合カテゴリ	1～5個	<=5			改善点が2つまで	<=2				
17		6～10個	<=10			改善点が3つ以上	>=3				
18		11個以上	>=11								
19											
20											
21											
22											
23											

⑦ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→SA(回答数)実行]を選択します。

⑧ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[MA→SA(回答数)設定表]シートの設定に従って設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
90	13	冷凍魚フライ			
91	13	インスタントラーメン			
92	13	インスタント やきそば			
93	13	インスタントうどん・そば			
94	13	その他			
95	14	Q5-1よく買う簡単調理食品・そ	F	A	
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q8商品の改善点の回答数(MAS		1	2
101	17	改善点が2つまで			
102	17	改善点が3つ以上			
103	[EOF]				

	A	P	Q	R	S	T
1	h					
2						
3						
4						
5		14	15	16	17	
6		<FA>	<IN>	<SA>	<SA>	
7		Q5-1	Q6	Q7	Q8	
8		よく買う簡単調理食品・その他	年齢	性別	商品の改善点の回答数(MA→SA)	
9	サンプル番号	(1)	(1)	(2)	(2)	
10						
11	1	P	27	N	P	
12	2	P	42	2	P	
13	3	P	20	1	P	

6. 複数回答を数量回答に変換

MA 設問の各選択肢にポイントを設定し、回答した選択肢の合計ポイントが回答となるような数量設問を追加します。

または、MA 設問で選択した選択肢の数を回答する数量設問を追加します。

MA を IN に変換

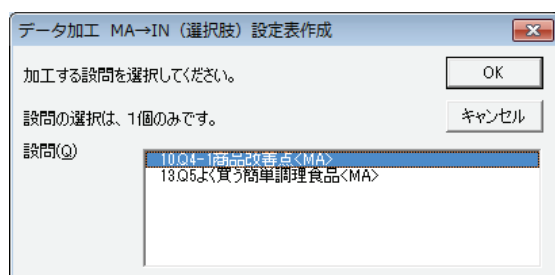
MA 設問の各選択肢にポイントを設定し、回答した選択肢の合計ポイントが回答となるような数量設問に変換します。

例：

例えば、「1. 麺類」「2. 肉料理」「3. 魚料理」「4. 野菜」「5. 果物」という選択肢の MA に対して、「1. 麺類」を数値の「1」に、「5. 果物」を数値の「5」に変換します。もし「1. 麺類」と「5. 果物」が回答されていると変換結果は回答番号の和「6」となります。

① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→IN(選択肢)設定表]を選択します。

② 「MA→IN 設定表作成」ウィンドウで、数量設問に変換したい設問を 1 つ選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

自動的に[MA→IN(選択肢)設定表]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		各設問の設問番号が記されている列に、選択肢が表記されています。									
2		【元カテゴリ】と記されている列に、 選択肢に割り当てる数値 を記入してください。									
3											
4											
5		例			10						
6		<SA>			<MA>						
7		Q0			Q4-1						
8		持っているAV製【元カテゴリ】			商品改善点 元カテゴリ						
9		(5)			(7)						
10											
11	統合カテゴリ	パソコン	1		もっと味を濃くする						
12		ビデオ	2		もっと味をマイルドにする						
13		CDプレー	4		もっと具の量を増やす						
14		DVDプレー	8		もっと具の種類を増やす						
15		MP3プレー	16		ルーの内容量を増やす						
16					味の種類を増やす						
17					その他						

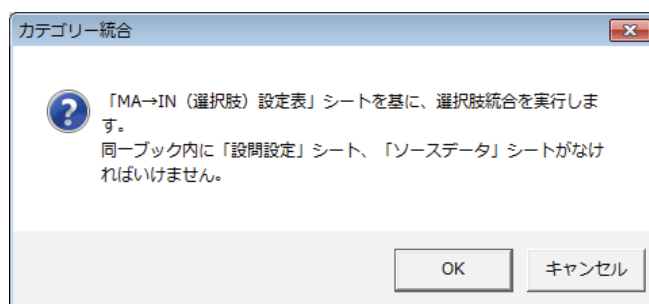
変換対象の設問の選択肢が一覧表示されています。

③【元カテゴリー】と記載されている列に、割り当てるポイント(数値)を入力します

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		各設問の設問番号が記されている列に、選択肢が表記されています。								
2		【元カテゴリー】と記されている列に、 選択肢に割り当てる数値 を記入してください。								
3										
4										
5		例			10					
6		<SA>			<MA>					
7		Q0			Q4-1					
8		持っているAV製【元カテゴリー】			商品改善点	【元カテゴリー】				
9		(5)			(7)					
10										
11	統合カテゴリー	パソコン	1	もっと味を濃くする		7				
12		ビデオ	2	もっと味をマイルドにする		6				
13		CDプレーヤー	4	もっと具の量を増やす		5				
14		DVDプレーヤー	8	もっと具の種類を増やす		4				
15		MP3プレーヤー	16	ルーの内容量を増やす		3				
16				味の種類を増やす		2				
17				その他		1				

④ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→IN 実行]を選択します。

⑤ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[MA→IN (選択肢) 設定表]シートの設定に従って設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

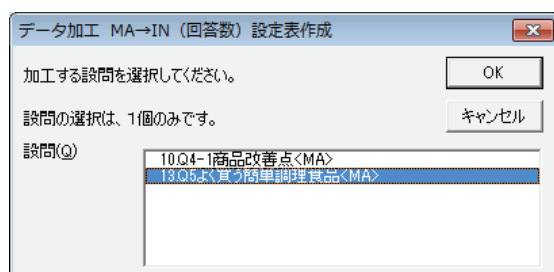
	A	B	C	D	E
90	13	冷凍魚フライ			
91	13	インスタントラーメン			
92	13	インスタントやきそば			
93	13	インスタントうどん・そば			
94	13	その他			
95	14	Q5-1よく買う簡単調理食品・そ	F	A	
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q4-1 商品改善点(MA→IN)	I	1	28
101	[EOF]				
102					
103	↑この[EOF]は、削除しないでください。				

	A	O	P	Q	R	S
1	h					
2						
3						
4						
5		13	14	15	16	17
6		<MA>	<FA>	<IN>	<SA>	<IN>
7		Q5	Q5-1	Q6	Q7	Q4-1
		よく買う	よく買う	年齢	性別	商品改善
		簡単調理	簡単調理			点 (MA→
		食品	食品・そ			IN)
		(13)	(1)	(1)	(2)	(1)
8	サンプル					
9	番号					
10						
11	1	1, 3, 7	P	27	N	P
12	2	1, 7, 8	P	42	2	P
13	3	1, 5, 10	P	29	1	P

MA を IN に変換（回答数）

MA 設問を、回答した選択肢の数を回答する数量設問に変換します。

- ① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[MA→IN(回答数)設定表作成]を選択します。
- ② 「データ加工 MA→IN(回答数)設定表作成」ウィンドウで、数量設問に変換したい設問を1つ選択し、[OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

自動的に選択された設問の変換が行われ、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
90	13	冷凍魚フライ			
91	13	インスタントラーメン			
92	13	インスタント やきそば			
93	13	インスタントうどん・そば			
94	13	その他			
95	14	Q5-1よく買う簡単調理食品・そ	F	A	
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q5よく買う簡単調理食品(MA→I		0	3
101		[EOF]			
102					
103					

↑ この[EOF]は、削除しないでください。

設問設定 設問・選択肢一覧 選択肢統合 ソースデータ

	A	P	Q	R	S
1	h				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	サンプル	14	15	16	17
9	番号	<FA>	<IN>	<SA>	<IN>
10		Q5-1	Q6	Q7	Q5
11		よく買う	年齢	性別	よく買う
12		簡単調理			簡単調理
13		食品・そ			食品 (MA
14		その他			→ IN)
15		(1)	(1)	(2)	(1)
16	1	P	27	N	3
17	2	P	42	2	3
18	3	P	23	1	3

ソースデータ データ入力フォーム

7. データ加工に関連するその他の機能

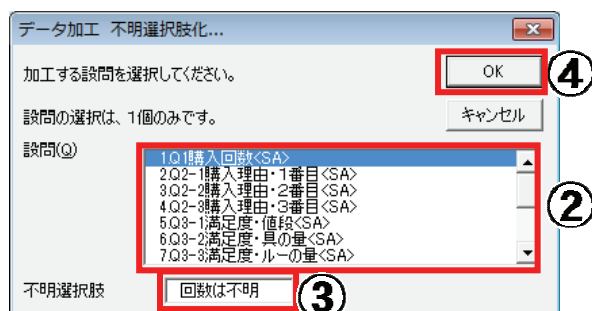
この節では、データ加工に関して「田園 V3」で利用できるその他の機能について説明します。

「不明」の選択肢化

設問に選択肢に「不明」を追加し、不明回答の場合にこの選択肢を割り当てます。
これにより、「真の不明回答」をなくすことができます。

- この選択肢には、任意の語句を設定できます。

- ① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[不明選択肢化]を選択します。
- ② 「データ加工 不明選択肢化」ウィンドウで、不明を選択肢化する設問を 1 つ選択します。
- ③ [不明選択肢]の欄に、不明回答の場合に割り当てる選択肢を入力します。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。



- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

不明回答を割り当てる選択肢を持つ設問が自動的に設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
96	15	Q6年齢	I	6	120
97	16	Q7性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q1 購入回数(不明を選択肢化)S		1	6
101	17	はじめて			
102	17	2回目			
103	17	3回目			
104	17	4回目			
105	17	5回目以上			
106	17	回数は不明			
107	[EOF]				
108					
109					

↑この「EOF」は、削除しないでください。

	A	O	P	Q	R	S
1	h					
2						
3						
4						
5		13	14	15	16	17
6		<MA>	<FA>	<IN>	<SA>	<SA>
7		Q5	Q5-1	Q6	Q7	Q1
8	サンプル	よく買う	よく買う	年齢	性別	購入回数
9	番号	簡単調理	簡単調理			(不明を
10		食品	食品・そ			選択肢
11		(13)	(1)	(1)	(2)	化) (8)
12	1	1,3,7	P	27	N	1
13	2	1,7,8	P	42	2	3
14	3	1,5,10	P	22	1	4

選択肢の不明化

特定の選択肢を不明扱いにすることができます。

明らかにおかしい選択肢が用意されてしまったときの処理に利用します。

① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[特定選択肢不明化]を選択します。

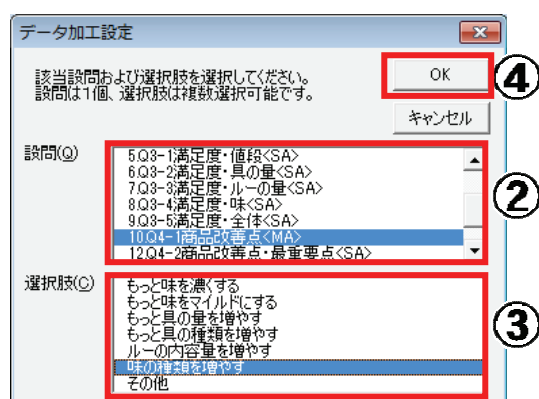
② 「データ加工設定」ウィンドウで、対象の設問を 1 つ選択します。

- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

選択した設問の回答として用意された選択肢が選択肢欄に表示されます。

③ 不明にする選択肢を選択します。

④ [OK]ボタンをクリックします。



特定の選択肢を不明扱いにした設問が設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
96	15	Q6 年齢	I	6	120
97	16	Q7 性別	S	1	2
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q4-1 商品改善点 (一部の選択 M		1	6
101	17	もっと味を濃くする			
102	17	もっと味をマイルドにする			
103	17	もっと具の量を増やす			
104	17	もっと具の種類を増やす			
105	17	ルーの内容量を増やす			
106	17	その他			
107	[EOF]				
108					
109					

↑ この [EOF] は、削除しないでください。

	A	P	Q	R	S
1	h				
2					
3					
4					
5		14	15	16	17
6		<FA>	<IN>	<SA>	<MA>
7		Q5-1	Q6	Q7	Q4-1
		よく買う	年齢	性別	商品改善
		簡単調理			点 (一部
		食品・そ			の選択肢
		その他			を不明
					化)
8	サンプル				
9	番号				
10		(1)	(1)	(2)	(8)
11	1	P	27	N	P
12	1	P	42	2	P

「非該当」の選択肢化

選択肢に「非該当」を増やし、これに非該当回答を割り当てることができます。

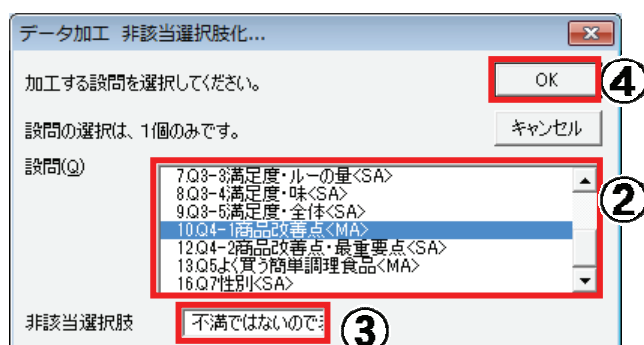
① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[非該当選択肢化]を選択します。

② 「データ加工 非該当選択肢化」ウィンドウで、対象の設問を1つ選択します。

- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

③ [非該当選択肢]の欄に、非該当の場合に割り当てる選択肢を入力します。

④ [OK]ボタンをクリックします。



非該当の選択肢を持つ設問が自動的に設定され、[設問設定]シートおよび[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
98	16	男性			
99	16	女性			
100	17	Q4-1 商品改善点(非該当を選択肢化)	1	8	
101	17	もっと味を濃くする			
102	17	もっと味をマイルドにする			
103	17	もっと具の量を増やす			
104	17	もっと具の種類を増やす			
105	17	ルーの内容量を増やす			
106	17	味の種類を増やす			
107	17	その他			
108	17	不満ではないので非該当			
109	[EOF]				
110					
111					

↑ この[EOF]は、削除しないでください。

設問設定 設問・選択肢一覧 選択肢統合 ソースデータ

	A	P	Q	R	S
1	h				
2					
3					
4					
5		14	15	16	17
6		<FA>	<IN>	<SA>	<MA>
7		Q5-1	Q6	Q7	Q4-1
8		よく買う	年齢	性別	商品改善点(非該当を選択肢化)
9	サンプル番号	(1)	(1)	(2)	(8)
10					
11	1	P	27	N	8
12	2	P	42	2	8
13	3	P	23	1	8

ソースデータ データ入力フォーム

項目の結合 (SA、MA)

複数の設問をまとめ、その選択肢の項目を統合します。

例：(この例はサンプルファイルの内容とは異なります。)

Q1 好きな食べ物

1. 麺類
2. 肉料理
3. 魚料理

Q2 好きな飲み物

1. ジュース
2. コーラ
3. 牛乳



Q3 好きな飲食物

1. 麺類
2. 肉料理
3. 魚料理
4. ジュース
5. コーラ
6. 牛乳

- 元になる設問の数はいくつでも選択できます。
- 選択肢の合計数は 250 個までです。
- 統合先の選択肢の並び順は、統合元の設問番号の若い順となります。
- 統合先の設問は MA になります。

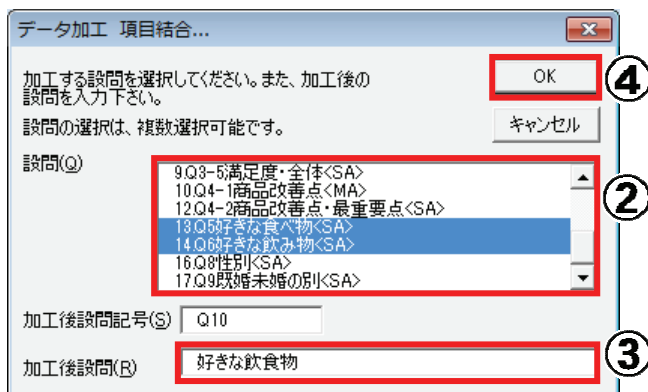
① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[項目統合]を選択します。

- リストの設問をクリックすると、選択できます。
- 再度クリックすると選択が解除されます。

② 「データ加工 項目統合」ウィンドウで、項目を統合する設問を選択します。

③ [加工後設問]の欄に加工後の設問文を入力します。

④ [OK]ボタンをクリックします。



自動的に項目が統合され、[設問一覧]シートと[ソースデータ]シートに設問が追加されます。

	A	B	C	D
90	16.Q8性別		S	
91	16.男性			
92	16.女性			
93	17.Q9既婚未婚の別		S	
94	17.既婚			
95	17.未婚			
96	18.Q10好きな飲食物(項目結合)	M		
97	18.麺類			
98	18.肉料理			
99	18.魚料理			
100	18.ジュース			
101	18.炭酸飲料			
102	18.牛乳			
103	[EQE]			

	A	O	P	Q	R	S	T
1	h						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8	サンプル						
9	番号						
10							
11	1	1	2	27	N	2	1,5
12	2	1	1	42	2	1	1,4
13	3	2	3	23	1	1	2,6
14	4	1	5	18	1	2	1,5

項目のクロス (SA、MA)

複数の設問をクロスさせて、新しい設問に変換します。

例：(この例はサンプルファイルの内容とは異なります。)

Q1 性別 1. 男性 2. 女性
Q2 婚姻 1. 既婚 2. 未婚



Q3 性別・婚姻
1. 男性・既婚
2. 男性・未婚
3. 女性・既婚
4. 女性・未婚

- 元になる設問はふたつです。
- クロスした設問の選択肢の合計は 250 個までです。
- 選択肢は、クロスする設問を選択した順番になります。
この例でいうと、「Q1 Q2」という順番で選択するとQ3の選択肢は1. 男性・既婚 2. 男性・未婚 3. 女性・既婚 4. 女性・未婚 となりますが、「Q2 Q1」と選択すると、1. 既婚・男性 2. 未婚・男性 3. 既婚・女性 4. 未婚・女性 となります。
- クロス元の設問がどちらも SA の組み合わせの場合、クロス結果の設問も SA になります。
- SA 同士ではない組み合わせの場合は、MA となります。

- ① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[データ加工]－[項目クロス]を選択します。
- ② 「データ加工 項目クロス」ウィンドウの[設問1]のドロップダウンリストからクロスする設問のひとつ目を選択します。
- ③ [設問2]のドロップダウンリストからクロスする設問のふたつ目を選択します。
- ④ [加工後設問]の欄に、項目をクロスして作成した設問の設問文を入力します。
- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。

項目をクロスして作成した設問が、自動的に[設問一覧]シートと[ソースデータ]シートに追加されます。

	A	B	C	D	E
96	18	Q10好きな飲食物(項目結合)	M	1	6
97	18	麺類			
98	18	肉料理			
99	18	魚料理			
100	18	ジュース			
101	18	炭酸飲料			
102	18	牛乳			
103	19	Q11性別と既婚未婚(項目クロス)		1	4
104	19	男性、既婚			
105	19	男性、未婚			
106	19	女性、既婚			
107	19	女性、未婚			
108	[EOF]				
109					

	A	Q	R	S	T	U
1	h					
2						
3						
4						
5		15	18	17	18	19
6		<IN>	<SA>	<SA>	<MA>	<SA>
7		Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
		年齢	性別	既婚未婚の別	好きな飲食物(項目結合)	性別と既婚未婚(項目クロス)
8	サンプル番号	(1)	(2)	(2)	(6)	(4)
9						
10						
11	1	27	N	2	1,5	
12	2	42	2	1	1,4	3
13	3	23	1	1	6,6	

第2章 集計

「田園 V3」では、入力データを簡単な操作で次の集計を行うことができます。集計操作の中でページ設定を行い、印刷しやすい形式にレイアウトした結果を得ることができます。

- 単純集計
単純にどの選択肢が何件(何%)あったのかを集計します。
- 加重平均算出
選択肢に点数をつけて重みづけを行い、集計します。
- クロス集計
2つの設問にどう答えたかによって回答者を分類し、集計します。

集計は、次の順序で行います。

1 単純集計を行います

クロス集計が最終的な目的の場合でも、単純集計を行う必要があります。(☞ 31 ページ)
単純集計の結果を利用して、加重平均算出やクロス集計を行うことができます。

2 加重平均算出やクロス集計を行います

単純集計の結果を利用して、複雑な集計を行います。

- 加重平均算出
選択肢に点数をつけて重みづけを行い、回答を数値化して集計します。(☞ 37 ページ)
- クロス集計
2つの設問にどう答えたかによって回答者を分類し、集計します。(☞ 50 ページ)

3 アンケートの結果を利用します

- カテゴリ置換
番号ではなく選択肢の語句を使って表記した回答一覧を作成できます。プレゼンテーション資料として利用できます。(☞ 64 ページ)
- サンプル抽出
条件にマッチしたサンプルだけを抜き出して利用することができます。(☞ 65 ページ)

次のことも行えます。

☞「設問一覧作成」62 ページ

☞「設問一覧作成(記号無)」63 ページ

☞「不明・非該当文字の変更」69 ページ

☞「不明・非該当のカテゴリ名称の変更」70 ページ

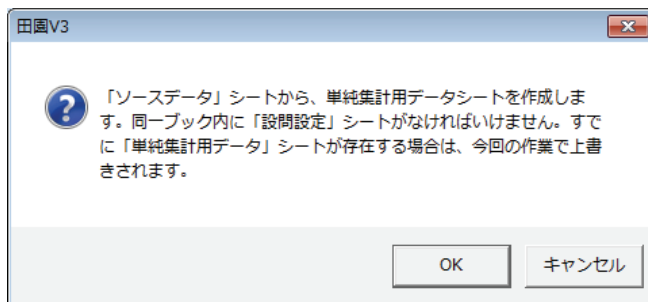
☞「並べ替え除外カテゴリの変更」71 ページ

1. 単純集計

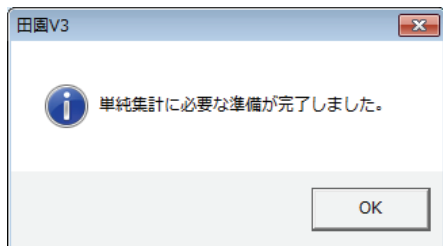
アンケートデータを、単純にどの選択肢が何件(何%)あったか集計します。

① [田園 V3]ー[データ加工・集計]ー[単純集計]ー[専用シート作成]を選択します。

② 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



③ 準備完了のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



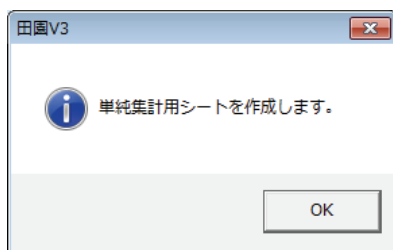
[単純集計用データ]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	h												
2		●データ内容(数値)はカテゴリー番号です。カテゴリー番号は設問一覧シートを参照してください。											
3		N・・・不明 P・・・非該当 <SA>:単数回答 <MA>:複数回答 <IN>:数値回答 <FA>:自由回答											
4													
5		設問番号	1								2		
6		データ形態	<SA>								<SA>		
7		設問記号	Q1								Q2-1		
8		設問項目	購入回数								購入理由・1番目		
9	サンプル番号	カテゴリー数	(5)	Q1-1	Q1-2	Q1-3	Q1-4	Q1-5	Q1-6	Q1-7	(8)	Q2-1-1	Q2-1-2
10		見出し		はじめて	2回目	3回目	4回目	5回目以上	不明	非該当		前回食べたか	店で試食をしたか
11	1		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
12	2		3	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
13	3		4	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0
14	4		1	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0
15	5		5	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0
16	6		1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1

- [単純集計用データ]シートは、[ソースデータ]シート内の単数回答と複数回答を選択肢ごとに分解し、実際の集計ができる形式に編集したものです。
- 「ソースデータ」と「単純集計用データ」は連携していません。[単純集計用データ]シートを作成後に「ソースデータ」を変更した場合は、[単純集計用データ]シートを再作成してください。
- [単純集計用データ]シートを再作成すると、以前に作成された[単純集計用データ]シートは自動的に削除されます。

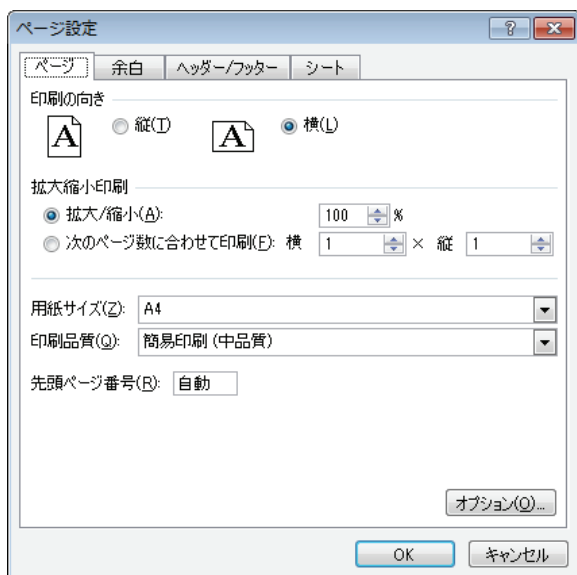
④ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[単純集計]－[単純集計実行]を選択します。

⑤ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



「ページ設定」ウィンドウが表示されます。

⑥ 単純集計終了後に[単純集計]シートを印刷するときのページ設定を行います。



- PC にプリンタがインストールされていない場合は、表示されません。
- 用紙サイズや印刷の向き、余白の大きさ、ヘッダーやフッターなどの設定を行います。
- 初期状態では、次の設定になります。
 - ・用紙サイズ ……A4
 - ・印刷の向き ……横
 - ・ヘッダー ……日付を配置
 - ・フッター ……ページ番号を配置
- 印刷を行うときに、ここで設定した内容に基づいて、[単純集計]シートのレイアウトが調整されます。
- 行方向のページ設定は、単純集計が完了した後、手作業で行ってください。

⑦ [OK]ボタンをクリックします。

「単純集計」ウィンドウが表示されます。

⑧「単純集計」ウィンドウで、集計方法を設定します。

集計する設問

単純集計する設問を選択します。初期表示では、すべての設問が選択(青色反転表示)されています。設問の上でクリックするたびに、選択/解除を切り替えることができます。選択した設問だけが単純集計され、解除した設問は集計の対象外になります。

すべての設問 を集計対象に する

チェックボックスをオンにすると、[集計する設問]に一覧表示されている設問すべてを選択できます。

チェックボックスをオフにすると、すべての設問の選択をまとめて解除できます。

母数の値

[単純集計]するときの母数を、次の3種類から選択します。

[全体の件数] ……………すべてのアンケートサンプルを集計

[非該当を除いた件数] ……………非該当サンプルを除いて集計

[不明・非該当を除いた件数] ……………不明サンプル、非該当サンプルを除いて集計

標準偏差の種 類

数量回答(IN)で標準偏差の算出に使用する方法を、次の中から選択します。

[バイアス法《n法》] ……………アンケートサンプルを母集団全体であるとみなして標準偏差を算出

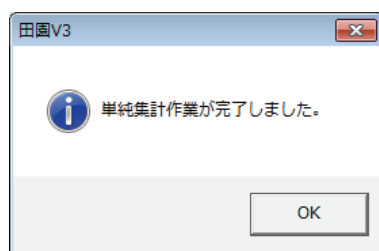
[非バイアス法《n-1法》] ……………サンプルを母集団の一部であるとみなして標準偏差を算出

この項目の設定は、集計全体に適用されます。設問ごとの設定はできません。初期状態では、非バイアス法になっています。

表示順	<p>カテゴリーの列挙するときに、「選択肢番号順」にするか「ランキング順」にするか選択します。</p> <p>[選択肢番号順] …… 選択肢の番号順に表示されます。</p> <p>[ランキング順] …… カテゴリーが得票数の多い順に並べ替えられます。</p> <p>ただし、「並べ替え除外カテゴリー」として設定されているカテゴリーは、一覧の最後に選択肢の番号順に並びます。(⑨「並べ替え除外カテゴリーの変更」71 ページ)</p> <p>初期状態では、選択肢番号順になっています。</p>
不明ラベル	<p>集計表の、不明回答に対する項目名を変更できます。ドロップダウンリストから[不明][無回答]を選択できますが、それ以外の語句を入力してもかまいません。</p> <p>不明ラベル(N) 未記入</p>
非該当ラベル	<p>集計表の、非該当回答に対する項目名を変更できます。</p> <p>ドロップダウンリストから[非該当][該当しない]を選択できますが、それ以外の語句を入力してもかまいません。</p> <p>初期状態では、非該当になっています。</p>
印刷時ページをはみ出さないように折り返す	<p>単純集計表作成時、現在の印刷設定に従って、横方向にはみ出さないように自動的に表を折り返します。下方向のはみ出しは考慮していません。</p>

⑨ [OK]ボタンをクリックします。

⑩ 完了のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[単純集計]シートに集計結果が作成されます。また、どの設問を単純集計したのかを示す[単純集計一覧表]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	標準偏差は《D》：パイアス法 (n法) 《E》：非パイアス法 (n-1法)										
2											
3											
4	■【Q1】購入回数 <SA>										
5		(5)	Q1-1	Q1-5	Q1-3	Q1-2	Q1-4	Q1-6			
6		全 体	はじめて	5回目以上	3回目	2回目	4回目	不明			
7	件 数	111	43	23	21	18	6	0			
8	%	100.0	38.7	20.7	18.9	16.2	5.4	0.0			
9											
10											
11	■【Q2-1】購入理由・1番目 <SA>										
12		(8)	Q2-1-3	Q2-1-2	Q2-1-4	Q2-1-5	Q2-1-1	Q2-1-8	Q2-1-6	Q2-1-7	Q2-1-9
13		全 体	値段が安かったか	店で試食をしておいしかったか	お店の人に勧められて	友人に勧められて	前回食べたおいしかったか	TVコマシャルを見て	評判が良かったか	パッケージが気に入ったか	不明
14	件 数	111	32	26	21	9	7	6	3	3	4
15	%	100.0	28.8	23.4	18.9	8.1	6.3	5.4	2.7	2.7	3.6
16											
17											
18	■【Q2-2】購入理由・2番目 <SA>										
19		(8)	Q2-2-5	Q2-2-2	Q2-2-3	Q2-2-1	Q2-2-4	Q2-2-7	Q2-2-6	Q2-2-8	Q2-2-9
20		全 体	おいしかったか	店員さんの対応が良かったか	商品の種類が多かったか	商品の価格が安いと思ったか	商品の品質が良かったか	商品のデザインが良かったか	商品の説明が良かったか	商品の包装が良かったか	商品の匂いが良かったか
21	件 数	111	32	26	21	9	7	6	9	3	4
22	%	100.0	28.8	23.4	18.9	8.1	6.3	5.4	2.7	2.7	3.6

	A	B
1	No.	設問 <形態>
2	1	【Q1】購入回数 <SA>
3	2	【Q2-1】購入理由・1番目 <SA>
4	3	【Q2-2】購入理由・2番目 <SA>
5	4	【Q2-3】購入理由・3番目 <SA>
6	5	【Q3-1】満足度・値段 <SA>
7	6	【Q3-2】満足度・具の量 <SA>
8	7	【Q3-3】満足度・ルーの量 <SA>
9	8	【Q3-4】満足度・味 <SA>
10	9	【Q3-5】満足度・全体 <SA>
11	10	【Q4-1】商品改善点 <MA>
12	11	【Q4-1-1】商品改善点・その他 <FA>
13	12	【Q4-2】商品改善点・最重要点 <SA>
14	13	【Q5】よく買う簡単調理食品 <MA>
15	14	【Q5-1】よく買う簡単調理食品・その他 <FA>
16	15	【Q6】年齢 <IN>
17	16	【Q7】性別 <SA>
18		
19		
20		
21		



何度も[単純集計]を実行した場合、集計結果はどんどん[単純集計]シートや「単純集計一覧表」シートに追加されるような形で記載されていきます。以前の集計結果を置き換えるわけではありません。

不要な集計結果は、Excel の機能を用いて行ごと削除してください。

単純集計から読み取れること

単純集計によって、次のことが読み取れます。

単数回答（SA）、複数回答（MA）

- サンプル件数
- 各カテゴリーの割合

■ 【Q3-5】満足度・全体 <SA>							
	(5)	Q3-5-2	Q3-5-1	Q3-5-3	Q3-5-4	Q3-5-5	Q3-5-6
	全 体	やや満足	満足	普通	やや不満	不満	不明
件 数	111	45	35	24	4	2	1
%	100.0	40.5	31.5	21.6	3.6	1.8	0.9

■ 【Q4-1】商品改善点 <MA> 《非該当：105件 を除く》									
	(7)	Q4-1-1	Q4-1-3	Q4-1-5	Q4-1-2	Q4-1-4	Q4-1-6	Q4-1-7	Q4-1-8
	全 体	もっと味を濃くする	もっと具の量を増やす	ルーの内容容量を増やす	もっと味をマイルドにする	もっと具の種類を増やす	味の種類を増やす	その他	不明
件 数	6	3	3	3	1	1	1	2	1
%	100.0	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7

数量回答（IN）

- 件数
- 全体を自動的に 10 等分し、単数回答 (SA) に自動的に変換した集計結果
- 合計値
- 平均値
- 最小値
- 最大値
- 標準偏差 (バイアス表は D、非バイアス法は E と表示)

■ 【Q6】年齢 <IN>												
	(10)	Q6-1	Q6-2	Q6-3	Q6-4	Q6-5	Q6-6	Q6-7	Q6-8	Q6-9	Q6-10	Q6-11
	全 体	6.0以上 11.8未満	11.9以上 17.8未満	17.9以上 23.7未満	23.8以上 29.6未満	29.7以上 35.5未満	35.6以上 41.4未満	41.5以上 47.3未満	47.4以上 53.2未満	53.3以上 59.1未満	59.2以上 65.0以下	不明
件 数	111	4	18	26	20	15	15	8	0	2	1	2
%	100.0	3.6	16.2	23.4	18.0	13.5	13.5	7.2	0.0	1.8	0.9	1.8
合 計	2949.0											
平 均	27.1											
最 小	6.0											
最 大	65.0											
標準偏差:E	11.2											

また、有効な回答が 1 種類しかない場合 (最小値と最大値が等しい場合) は次のような表示になります。

■ 【Q6】年齢 <IN>												
	(10)	Q6-1	Q6-2	Q6-3	Q6-4	Q6-5	Q6-6	Q6-7	Q6-8	Q6-9	Q6-10	Q6-11
	全 体	27未満	27未満	27未満	27未満	27未満	27未満	27未満	27未満	27未満	27以上 27以下	不明
件 数	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	48
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.8	43.2
合 計	1701.0											
平 均	27.0											
最 小	27.0											
最 大	27.0											
標準偏差:E	0.0											

自由回答（FA）

- 有効回答数
- 割合は常に 100%

■【Q4-1-1】商品改善点・その他 <FA> 《非該当：109件 を除く》			
	全 体	Q4-1-1-1 有効回答	Q4-1-1-2 不明
件 数	2	2	0
%	100.0	100.0	0.0



複数回答(MA)の場合、割合の分母(母数)は選択回答の総数ではなく、サンプル数です。
たとえば次のような設問の場合、

問:好きな食べものは何ですか？(複数回答可)

1. 和食 2. 洋食 3. 中華

1 人目の回答:和食、洋食

2 人目の回答:中華

3 人目の回答:和食、中華

3人の回答の総数は5つですが、母数(サンプル数)は3です。

すなわち、「3人の中で『和食』と答えた人が何人いるか」ということが重要であり、回答の総数は意味を持ちません。

「和食」と答えた人:3 人のうち 2 人・・・66.7%

「洋食」と答えた人:3 人のうち 1 人・・・33.3%

「中華」と答えた人:3 人のうち 2 人・・・66.7%

したがって、すべての比率の合計が 100%を超える可能性もあります。

2. 加重平均算出

選択肢に点数をつけて重みづけを行い、評価を算出をすることができます。この重みづけに用いる各点数を「階級値」と呼びます。

例：

「加重平均」算出は、以下のようなアンケートの回答を数値化するために利用できます。

Q3. 「オイシカレー」の感想はいかがでしたか？あてはまるものをそれぞれ選んでください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
Q3-1 値段	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-2 具の量	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-3 ルーの量	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-4 味（辛さ）	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —
Q3-5 全体	— 1 —	— 2 —	— 3 —	— 4 —	— 5 —

「満足」…2点 「やや満足」…1点 「普通」…0点 「やや不満」…-1点 「不満」…-2点

と点数をつけ、全員の評価の平均値を算出することにより、どの程度好まれているかを客観的に数値で判断することができます。

「田園 V3」では、この階級値による平均値算出を簡単に行うことができます。



加重平均算出を行うには、単純集計を行って[単純集計用データ]シートが作成されている必要があります。

① 最新の[単純集計用データ]シートを作成していることを確認します。

■このシートを編集する場合は、シートをコピー

●データ内容（数値）はカテゴリー番号です。カテゴリー番号は設問一覧シートを参照してください。
N・・・不明 P・・・非該当 <SA>：単数回答 <MA>：複数回答 <IN>：数値回答 <FA>：自由回答

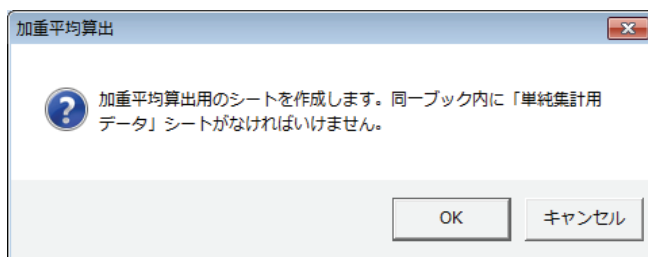
1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2	h	設問番号	1							2			
3		データ形態	<SA>							<SA>			
4		設問記号	Q1							Q2-1			
5		設問項目	購入回数							購入理由・1番目			
6													
7													
8	サンプル												
9	番号	カテゴリー数	(5)	Q1-1	Q1-2	Q1-3	Q1-4	Q1-5	Q1-6	Q1-7	(8)	Q2-1-1	Q2-1-2
10		見出し		はじめて	2回目	3回目	4回目	5回目以上	不明	非該当		前回食べておいしかったから	店で試食をしておいたから
11	1		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
12	2		3	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
13	3		4	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0
14	4		1	1	0	0	0	0	0	0	8	0	0
15	5		5	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0
16	6		1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1

シートタブ: 設問設定 設問・選択肢一覧 ソースデータ **単純集計用データ** 入力フォーム

- 最新の[単純集計用データ]シートが存在しない場合は、[単純集計用データ]シートを作成してください。(F 31 ページ)

② [田園 V3]－[データ加工・集計]－「加重平均算出」を選択します。

③ 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



「加重平均算出」ウィンドウが表示されます。

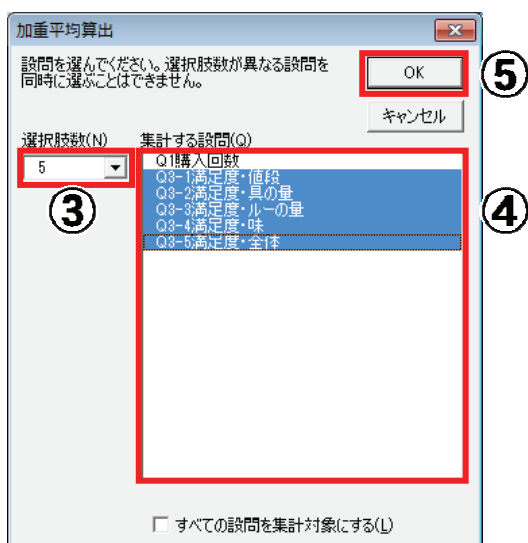
④ 「加重平均算出」ウィンドウの[選択肢数]のドロップダウンリストから、選択肢の数を選択します。

選択した数と同じ選択肢数を持つ設問が一覧表に表示されます。

⑤ [集計する設問]の欄で、加重平均値を算出する設問を選択します。

- 青色で反転表示された状態が選択した状態で、加重平均算出の集計の対象となります。
- クリックするたびに、選択/解除が切り替わります。
- [すべての設問を集計対象にする]のチェックボックスをオンにすると、一覧表に表示された設問すべてをまとめて選択できます。
オフにすると、まとめて選択を解除できます。

⑥ [OK]ボタンをクリックします。





⑦ 加重平均算出後に[加重平均]シートを印刷するときのページ設定を行います。

ページ設定

ページ 余白 ヘッダー/フッター シート

印刷の向き

 ☐ 縦 (P)  ☒ 横 (L)

拡大縮小印刷

☒ 拡大/縮小 (A): 100 %

☐ 次のページ数に合わせて印刷 (E): 横 1 × 縦 1

用紙サイズ (Z): A4

印刷品質 (Q): 簡易印刷 (中品質)

先頭ページ番号 (B): 自動

オプション (O)...

OK キャンセル

- PC にプリンタがインストールされていない場合は、表示されません。
- 用紙サイズや印刷の向き、余白の大きさ、ヘッダーやフッターなどの設定を行います。
- 初期状態では、次の設定になります。
 - ・用紙サイズ ……………A4
 - ・印刷の向き ……………横
 - ・拡大縮小印刷 ……用紙サイズに合わせて 1×1 に収まるように自動調整する
 - ・ヘッダー ……………日付を配置
 - ・フッター ……………ページ番号を配置
- 印刷を行うときに、ここで設定した内容に基づいて、[加重平均]シートのレイアウトが調整されます。
- 行方向のページ設定は、単純集計が完了した後、手作業で行ってください。

⑧ [OK]ボタンをクリックします。

「加重平均(カテゴリー数 *nn*)」シートが作成されます。*nn* には、指定した選択肢数が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	■加重平均算出 (カテゴリ数: 5)									
2										
3	●5行目のC列以降 (■色部分) に加重値を入力してください。B列に加重平均値が表示されます。									
4										
5	設 問	平均値						不明	非該当	
6			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
7	【Q3-1】 満足度・	0.00	36	43	28	2	2	2	0	
8			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
9	【Q3-2】 満足度・	0.00	13	43	29	20	5	1	0	
10			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
11	【Q3-3】 満足度・	0.00	27	58	16	9	2	1	0	
12			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
13	【Q3-4】 満足度・	0.00	38	46	13	5	8	1	0	
14			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
15	【Q3-5】 満足度・	0.00	35	45	24	4	2	1	0	
16										

作成された「加重平均(カテゴリ数 nn)」シートには重みが未入力です。

⑨ 各選択肢に該当する点数を5行目(水色の部分)に直接入力します。

■加重平均算出 (カテゴリ数: 5)

●5行目のC列以降 (水色部分) に加重値を入力してください。B列に加重平均値が表示されます。

設 問	平均値	2	1	0	-1	-2	不明	非該当
【Q3-1】 満足度・値段	1.00	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当
【Q3-2】 満足度・具の量	0.35	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当
【Q3-3】 満足度・ルーフの量	0.88	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当
【Q3-4】 満足度・味	0.92	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当
【Q3-5】 満足度・全体	0.97	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当

加重平均(カテゴリ数 5) リースデータ 単純

階級値を入力

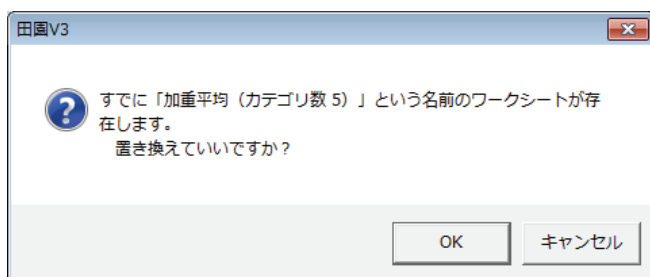
平均値を自動算出

- 値は数値であればどんな値でもかまいません。
- 計算結果は B 列に表示されます。(B 列には、計算式が格納されています。)

加重平均算出の注意

加重平均算出では、次のことに注意が必要です。

- 選択肢数が異なる設問の加重平均を算出する場合は、一通り加重平均算出の操作を完了した後、加重平均算出の操作を再度行います。
- 同じ選択肢数で再度加重平均算出を行おうとすると、次のメッセージが表示されます。



以前の[加重平均]シートに上書きする場合 ……[OK]ボタンをクリックします。

以前の[加重平均]シートを残す場合 ……[キャンセル]ボタンをクリックして、加重平均算出を中止します。残すシートの名前を変更してから、再度同じ選択肢数で加重平均算出を行ってください。

- 「加重平均算出」ウィンドウで[集計する設問]を指定せずに集計を行うと、未集計の「加重平均(カテゴリ数 nn)」シートが作成されます。シートを削除するか、再度同じ選択肢数で加重平均算出を行ってシートに上書きしてください。
- 加重平均値を算出して意味があるのは、単数回答だけです。複数回答は加重平均を算出しても、意味のある数値になりません。

[加重平均] シートの利用

作成した[加重平均]シートには、すべての設問の選択肢が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	■加重平均算出（カテゴリ数：5）									
2										
3			●5行目のC列以降（■色部分）に加重値を入力してください。B列に加重平均値が表示されます。							
4										
5	設 問	平均値	2	1	0	-1	-2	不明	非該当	
6			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
7	【Q3-1】 満足度・値段	1.00	36	43	26	2	2	2	0	
8			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
9	【Q3-2】 満足度・具の量	0.35	13	43	29	20	5	1	0	
10			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
11	【Q3-3】 満足度・ルーの量	0.88	27	56	16	9	2	1	0	
12			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
13	【Q3-4】 満足度・味	0.92	38	46	13	5	8	1	0	
14			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当	
15	【Q3-5】 満足度・全体	0.97	35	45	24	4	2	1	0	
16										
17										

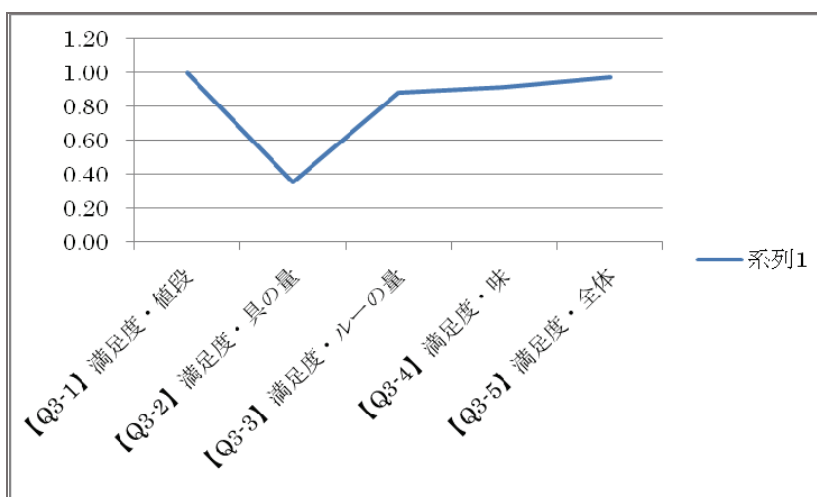
これを Excel の機能で編集できます。

- 選択肢名が不要な場合は Excel の機能で削除できます。

（この例では 8、10、12、14 行目を削除）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	■加重平均算出（カテゴリ数：5）								
2									
3			●5行目のC列以降（■色部分）に加重値を入力してください。B列に加重平均値が表示され						
4									
5	設 問	平均値	2	1	0	-1	-2	不明	非該当
6			満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	非該当
7	【Q3-1】 満足度・値段	1.00	36	43	26	2	2	2	0
8	【Q3-2】 満足度・具の量	0.35	13	43	29	20	5	1	0
9	【Q3-3】 満足度・ルーの量	0.88	27	56	16	9	2	1	0
10	【Q3-4】 満足度・味	0.92	38	46	13	5	8	1	0
11	【Q3-5】 満足度・全体	0.97	35	45	24	4	2	1	0
12									

- Excel の機能で折れ線グラフ等のグラフを作成できます。



この例では、A 列と B 列を折れ線グラフにしています。

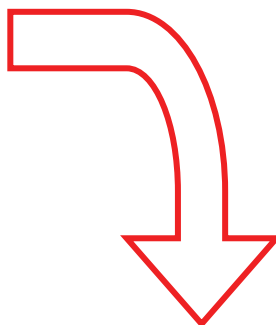
このようなグラフを作成すると、全体の傾向がひと目でわかります。例えば上図では、具の量の満足度がその他のものと比べて低いことが一目瞭然です。

3. 自由記述集計

自由記述集計とは、自由記述設問の回答に出現した単語の数と割合を算出する機能です。
[ソースデータ]シート、または「サンプル抽出機能」を用いて作成したワークシートの元にして、自由記述を集計できます。

例：

14
<FA>
Q5-1
よく買う簡単調理食品・その他
(1)
真空パックご飯
カップラーメン
カップラーメン,カップスープ
インスタント味噌汁,インスタントスープ
真空パックご飯
冷凍お好み焼き
真空パックご飯,カップラーメン
カップ味噌汁
カップスープ
レンジでチンするポップコーン
冷凍お好み焼き
真空パックごはん
カップラーメン
カップしるこ
レンジでチンするご飯,カップスープ
N
カップラーメン
冷凍食品全般
真空パックご飯,カップ味噌汁
カップラーメン
P
n



	(12)	Q5-1-1	Q5-1-2	Q5-1-3	Q5-1-4	Q5-1-5	Q5-1-6	Q5-1-7	Q5-1-8	Q5-1-9	Q5-1-10	Q5-1-11
	全 体	カップ ラーメン	真空パッ クご飯	カップ スープ	カップ味 噌汁	冷凍お好 み焼き	インスタ ントスー プ	インスタ ント味噌 汁	カップし るこ	レンジで チンする ご飯	レンジで チンする ポップ	真空パッ クごはん
件 数	20	8	4	3	2	2	1	1	1	1	1	1
%	100.0	30.0	20.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

	Q5-1-12	Q5-1-13
	冷凍食品 全般	不明
件 数	1	1
%	5.0	5.0

- 集計結果は、単純集計機能と同じく[単純集計]シートに出力されます。
[単純集計]シート作成されていない場合は、新規に作成されます。すでに作成されている場合は既存のシートに結果が追加されます。
- 同義語を同じ語として集計したり、指定した回数以下しか出現しなかった語を「その他」としてまとめたりできます。

- ① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[単純集計]－[自由記述集計]を選択します。
- ② 「自由記述集計」ウィンドウで、集計方法を設定します。

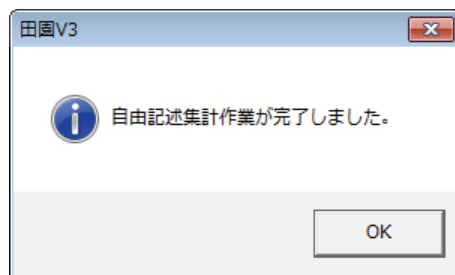
集計する設問	自由記述設問の一覧から集計する設問を選択します。初期表示では、すべての設問が選択(青色反転表示)されています。設問の上でクリックするたびに、選択/解除を切り替えることができます。選択した設問だけが単純集計され、解除した設問は集計の対象外になります。
すべての設問を集計対象にする	チェックボックスをオンにすると、[集計する設問]に一覧表示されている設問すべてを選択できます。 チェックボックスをオフにすると、すべての設問の選択をまとめて解除できます。
母数の値	集計するときの母数を、次の3種類から選択します。 [全体の件数] ……………すべてのアンケートサンプルを集計 [非該当を除いた件数] ……………非該当サンプルを除いて集計 [不明・非該当を除いた件数] ……………不明サンプル、非該当サンプルを除いて集計
自由記述集計設定	[その他上限回数] ……………集計時、ここで指定した回数以下しか出現しなかった回答を「その他」としてまとめます。 [シソーラス機能を使用する] ……………チェックボックスをオンにすると、同義語を同じ語として集計します。 同義語は、「シソーラス用シート作成」機能で作成した[シソーラス]シートで定義します。 [1つの回答内の同義語を集約する] ……………チェックボックスをオンにすると、同じサンプルの回答に同義語が出現した場合は、1回として集計します。
表示順	集計結果を表示するときに、語句を「五十音順」で表示するか「ランキング順」で表示するかを選択します。 [五十音順] ……………Excelのルビ機能で判定した順に表示します。 [ランキング順] ……………語句の出現数の多い順に表示します。

不明ラベル	集計表の、不明回答に対する項目名を変更できます。ドロップダウンリストから[不明][無回答]を選択できますが、それ以外の語句を入力してもかまいません。
非該当ラベル	集計表の、非該当回答に対する項目名を変更できます。 ドロップダウンリストから[非該当][該当しない]を選択できますが、それ以外の語句を入力してもかまいません。 初期状態では、非該当になっています。
印刷時ページをはみ出さないように折り返す	集計表作成時に、現在の印刷設定に従って、横方向にはみ出さないように自動的に表を折り返します。下方向のはみ出しは考慮していません。

● 上記の設定はすべて、処理全体に適用され、設問毎の設定はできません。

③ [OK]ボタンをクリックします。

④ 完了のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[単純集計]シートに集計結果が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
125													
126	■【Q5-1】よく買う簡単調理食品・その他<FA> 《非該当：91件 を除く》												
127	(12)	Q5-1-1	Q5-1-2	Q5-1-3	Q5-1-4	Q5-1-5	Q5-1-6	Q5-1-7	Q5-1-8	Q5-1-9	Q5-1-10	Q5-1-11	
128		全 体	カップ ラーメン	真空パッ クご飯	カップ スープ	カップ味 噌汁	冷凍お好 み焼き	インスタ ントスー プ	インスタ ント味噌 汁	カップし るこ	レンジで チンする ご飯	レンジで チンする ポップ	真空パッ クごはん
129	件 数	20	6	4	3	2	2	1	1	1	1	1	1
130	%	100.0	30.0	20.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
131													
132		Q5-1-12	Q5-1-13										
		冷凍食品 全般	不明										
133													
134	件 数	1	1										
135	%	5.0	5.0										
136													
137													

- ひとつのセルの中に「カップラーメン、カップスープ」のように半角カンマで区切られた状態で複数の単語が入力されている場合は、MA 回答と同じ扱いをします。すなわち、カップラーメンにも 1 票、大カップスープにも 1 票加える形で集計します。
- 集計時、指定回以下しか登場しなかった回答を「その他」としてまとめることができます。例えば上の集計で 1 回出現を「その他」とすると、次のようになります。

■【Q5-1】よく買う簡単調理食品・その他<FA> 《非該当：91件 を除く》								
	(6)	Q5-1-1	Q5-1-2	Q5-1-3	Q5-1-4	Q5-1-5	Q5-1-6	Q5-1-7
	全 体	カップ スープ	カップ ラーメン	カップ味 噌汁	真空パッ クご飯	冷凍お好 み焼き	その他	不明
件 数	20	3	6	2	4	2	7	1
%	100.0	15.0	30.0	10.0	20.0	10.0	35.0	5.0

- 設問によっては、同義語を集約することにより、調査目的に合った集計結果を得ることができます。
(㊦ 「[シソーラス]シートの利用」45 ページ)

[シソーラス] シートの利用

シソーラスとは、「同義語」とか「類義語」という意味です。シソーラスを利用すると、「ミカン」「オレンジ」「温州みかん」をすべて「みかん」とみなしたり、「うどん」「そば」「ラーメン」をすべて「麺類」とみなしたりすることができます。

設問によっては、同義語をシソーラスにより集約することにより、調査目的に合った集計結果を得ることができます。

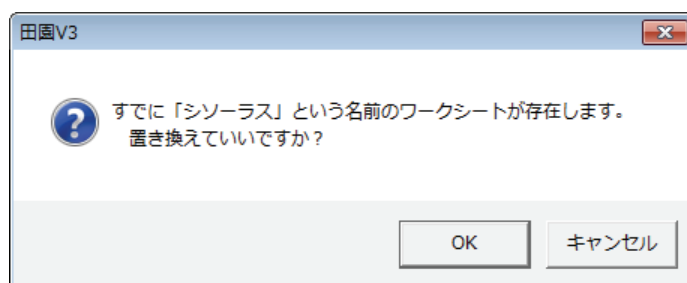
「田園 V3」では、「シソーラス用シート作成」機能で[シソーラス]シートを作成し、同義語を定義して自由記述集計で利用できます。

① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[単純集計]－[シソーラス用シート作成]を選択します。

作業中のブックに[シソーラス]シートが追加されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	自由記述集計で、同義語を代表単語に置き換える「シソーラス」設定を行います。									
2	A列には、シソーラスを適用する「設問番号」を入力します。入力できる「設問番号」はひとつです。									
3	B列には、「代表の単語」を入力します。									
4	C列以降には、「同義語・類義語」を入力します。ここで設定した単語は、「代表の単語」に置き換わります。									
5	[設定例]									
6	1	みかん	ミカン	オレンジ	温州みかん	温州ミカン				
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										

- すでに同名のシートが存在する場合は、次のメッセージが表示されます。



[OK]ボタンをクリックすると、既存のシートが新しい[シソーラス]シートに置き換えられます。

[キャンセル]ボタンをクリックすると、[シソーラス]シートの作成が中止されます。

② [シソーラス]シートで同義語を定義します。

	A	B	C	D	E	F
1	自由記述集計で、同義語を代表単語に置き換える「シソーラス」設定を行います。					
2	A列には、シソーラスを適用する「設問番号」を入力します。入力できる「設問番号」はひとつです。					
3	B列には、「代表の単語」を入力します。					
4	C列以降には、「同義語・類義語」を入力します。ここで設定した単語は、「代表の単語」に置き換わります。					
5	【設定例】					
6		1 みかん	ミカン	オレンジ	温州みかん	温州ミカン
7	14	真空パックご飯	真空パックごはん	レンジでチンするご飯		
8	14	インスタントスープ	カップスープ	カップ味噌汁	インスタント 味噌汁	
9						
10						
11						
12						
13						

適用する設問番号

代表の単語

同義語、類義語

- 7行目以降に定義を入力します。
- 1行が1つの定義になります。必要なだけ定義します。
- A列は、この定義を適用する設問番号を入力します。
設問番号はひとつしか入力できません。
- B列には同義語・類義語を代表する単語を入力します。
この単語が集計結果の表に表示されます。
- C列以降に、同義語・類義語を入力します。
ひとつのセルに1単語ずつ入力します。
- 同義語・類義語は、C列以降のすべての列に入力可能です。
空白セルは処理時に無視されます。
- A列に設問番号が入力されていない行は、処理では無視されます。
- 複数の設問に同じ定義を適用したい場合は、その数だけ同じ内容の行を作成します。

③ 自由記述集計を行うときに、[シソーラス機能を使用する]チェックボックスをオンにして集計します。

同義語が集約された集計結果を得ることができます。

■【Q5-1】よく買う簡単調理食品・その他<FA> 《非該当：91件 を除く》									
	(7)	Q5-1-1	Q5-1-2	Q5-1-3	Q5-1-4	Q5-1-5	Q5-1-6	Q5-1-7	Q5-1-8
	全 体	インスタ ントスー プ	カップ ラーメン	真空パッ クご飯	冷凍お好 み焼き	カップし るこ	レンジで チンする ポップ	冷凍食品 全般	不明
件 数	20	7	6	6	2	1	1	1	1
%	100.0	35.0	30.0	30.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0

自由記述カテゴリ置換

自由記述設問を SA または MA に変換します。

自由記述設問の回答が単数回答や複数回答の選択肢になるような設問が設定され、[設問設定]シート、[データ入力]シート、[ソースデータシート]に加工結果が追加されます。

例：

14
<FA>
Q5-1
よく買う簡単調理食品・その他
(1)
真空パックご飯
カップラーメン
カップラーメン,カップスープ
インスタント味噌汁,インスタントスープ
真空パックご飯
冷凍お好み焼き
真空パックご飯,カップラーメン
カップ味噌汁
カップスープ
レンジでチンするポップコーン
冷凍お好み焼き
真空パックごはん
カップラーメン
カップしるこ
レンジでチンするご飯,カップスープ
N
カップラーメン
冷凍食品全般
真空パックご飯,カップ味噌汁
カップラーメン
P
n

	(5)	Q5-1-1	Q5-1-2	Q5-1-3	Q5-1-4	Q5-1-5	Q5-1-6
	全 体	インスタントスー プ	カップ ラーメン	真空パッ クご飯	冷凍お好 み焼き	その他	不明
件 数	20	7	6	6	2	3	1

回答に出現した語句が選択肢
になるような設問に変換

Q5-2. その他の普段よく買われる簡単調理食品を選んでください。

1. インスタントスープ
2. カップラーメン
3. 真空パックご飯
4. その他

- 設問記号は、元の設問記号にハイフンと数字をつけたものが自動的に設定されます。

例えば元の自由記述設問の設問記号が「Q5」の場合、追加される設問の設問記号は「Q5-1」になります。ただし、すでに「Q5-1」という設問記号が使われている場合は、自動的に「Q5-2」という設問記号になります。

- 設問文は、元の設問文に「(FA→SA)」という文字列を追加したのになります。

- ひとつの自由記述設問の中に、「カップラーメン, カップスープ」のように半角カンマで区切って複数の単語が入力されている場合は、その自由記述設問を MA とみなして変換します。

回答が 1 単語の場合は、SA とみなして変換します。

- 同義語を同じ選択肢として集約したり、指定した回数以下しか出現しなかった語を「その他」の選択肢を回答したものとして処理したりすることもできます。

- ① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[単純集計]－[自由記述カテゴリ置換]を選択します。
- ② 「自由記述カテゴリ置換」ウィンドウで、処理方法を設定します。

集計する設問	自由記述設問の一覧から集計する設問を選択します。初期表示では、すべての設問が選択(青色反転表示)されています。設問の上でクリックするたびに、選択/解除を切り替えることができます。選択した設問だけが単純集計され、解除した設問は集計の対象外になります。
自由記述集計設定	<p>[その他上限回数] ……………集計時、ここで指定した回数以下しか出現しなかった回答を「その他」としてまとめます。</p> <p>[シソーラス機能を使用する] ………チェックボックスをオンにすると、同義語を同じ語として集計します。 同義語は、「シソーラス用シート作成」機能で作成した[シソーラス]シートで定義します。</p> <p>[1つの回答内の同義語を集約する] ……………チェックボックスをオンにすると、同じサンプルの回答に同義語が出現した場合は、1回として集計します。</p>
表示順	<p>集計結果を表示するときに、語句を「五十音順」で表示するか「ランキング順」で表示するかを選択します。</p> <p>[五十音順] ……………Excelのルビ機能で判定した順に表示します。</p> <p>[ランキング順] ………語句の出現数の多い順に表示します。</p>

● 上記の設定はすべて、処理全体に適用され、設問毎の設定はできません。

- ③ [OK]ボタンをクリックします。
- ④ 完了のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

[設問設定]シートに処理結果が表示されます。

	A	M	N	O	P	Q	R	S
1	h							
2								
3								
4								
5		11	12	13	14	15	16	17
6		<FA>	<SA>	<MA>	<FA>	<IN>	<SA>	<MA>
7		Q4-1-1	Q4-2	Q5	Q5-1	Q6	Q7	Q5-1-1
		商品改善点・その他	商品改善点・最重要点	よく買う簡単調理食品	よく買う簡単調理食品・その他	年齢	性別	よく買う簡単調理食品・その他 (FA→MA)
8	サンプル							
9	番号	(1)	(7)	(13)	(1)	(1)	(2)	(5)
10								
22	12	P	P	4,5,13	カップラー	20	2	2
23	13	P	P	5,6,13	カップラー	15	2	2,1
24	14	P	P	1,2,13	インスタント	30	1	'1,1
25	15	P	P	6,13,7	真空パック	45	2	3
26	16	P	P	1,13,7	冷凍お好み	19	2	4
27	17	P	P	3,6,13	真空パック	37	2	3,2
28	18	P	P	3,13,8	カップ味噌	32	2	'1
29	19	P	P	2,13,7	カップスー	25	2	'1
30	20	P	P	2,7,13	レンジでデ	31	2	5
31	21	P	P	2,13	冷凍お好み	16	2	4
32	22	P	P	2,5,13	真空パック	32	1	'3
33	23	P	P	5,13,7	カップラー	19	2	2
34	24	P	P	6,13	カップする	24	2	5
35	25	P	P	1,6,13	レンジでデ	18	2	'3,1
36	26	P	P	2,13,3	N	26	2	N
37	27	P	P	5,7,13	カップラー	39	2	2
38	28	P	P	2,6,13	冷凍食品全	22	2	5
39	29	P	P	1,13	真空パック	38	2	3,1
40	30	P	P	6,13,12	カップラー	19	2	2
41	31	P	P	1,3,5	P	23	2	P

- [設問設定]シート、[データ入力]シートにも追加が行われます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
100	17	Q5-1-1よく買う簡単調理食品・M		1	5			13	13
101	17	インスタントスー							
102	17	カップラーメン							
103	17	真空パックご飯							
104	17	冷凍お好み焼き							
105	17	その他							
106	[EOF]								
107									
108		↑この[EOF]は、削除しないでください。							
109									
110									
111									

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	No.	設 問	種	Min	Max	重複禁止	強制	該当処理	選択肢重複禁	サブNo.								
2	1	Q1 購入回数	S	1	5													
3	2	Q2-1 購入理由・1番目	S	1	8													
4	3	Q2-2 購入理由・2番目	S	1	8,2													
5	4	Q2-3 購入理由・3番目	S	1	8,2,3													
6	5	Q3-1 満足度・値段	S	1	5													
7	6	Q3-2 満足度・具の量	S	1	5													
8	7	Q3-3 満足度・ルーの量	S	1	5													
9	8	Q3-4 満足度・味	S	1	5													
10	9	Q3-5 満足度・全体	S	1	5													
11	10	Q4-1 商品改善点	M	1	7			9	4,5	1,2								
12	11	Q4-1 商品改善点・その他	F	A				10	7									
13	12	Q4-2 商品改善点・最重要	S	1	7			10	9	4,5								
14	13	Q5 よく買う簡単調理食品	M	1	13													
15	14	Q5-1 よく買う簡単調理食品	F	A				13	13									
16	15	Q6 年齢	I	6	120													
17	16	Q7 性別	S	1	2													
18	17	Q5-1 よく買う簡単調理食品	M	1	5			13	13									
19																		
20																		

アンケートの入力は、必ず「新規データ入力」メニューを選択してから行って下さい。

4. クロス集計

2つの設問にそれぞれどう答えたかによって回答者を分類することを「クロス集計」と呼びます。単純集計だけではわからないような事実が、クロス集計を行うことによって初めてわかる、ということもあります。クロス集計は、アンケート集計では大変重要です。

「田園 V3」では、任意の単数回答(SA)設問、および複数回答(MA)設問同士をクロス集計できます。また、数量回答(IN)を絡めた集計も行えるようになっています。自由回答(FA)設問はクロス集計の対象にはできません。

「田園 V3」では、以下の組み合わせのクロス集計ができます。

- 通常クロス集計
任意の単数回答(SA)設問または複数回答(MA)設問同士のクロス集計です。
- 数量クロス集計
任意の単数回答(SA)設問または複数回答(MA)設問に数量回答(IN)設問を加え、3つの設問を使って行うクロス集計です。
- カテゴリー別数量集計
単数回答(SA)設問、または複数回答(MA)設問の選択肢毎に数量回答(IN)を集計したものです。厳密にはクロス集計ではありません。

また、すべてのクロス集計に「条件」が設定できます。これにより、いわゆる「3次元クロス集計」が可能になります。

下記は、集計種類別に回答種類の組み合わせを示した表です。

種 類	表 頭	表 側	数 値	条 件
標準クロス	SA 設問 または MA 設問	SA 設問 または MA 設問	—	3次元クロスの場合に必要
数量クロス	SA 設問 または MA 設問	SA 設問 または MA 設問	数量回答	3次元クロスの場合に必要
カテゴリー別 数量クロス	—	SA 設問 または MA 設問	数量回答	3次元クロスの場合に必要

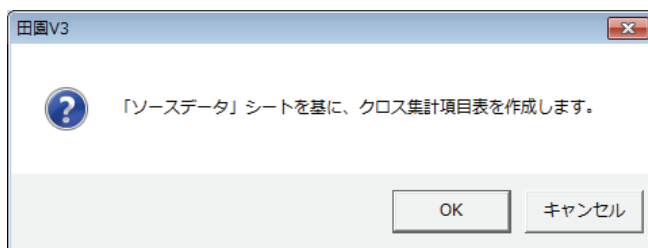
また、数量回答を使った集計は、数値の合計、平均、最大値、最小値、標準偏差を算出することが可能です。



クロス集計は、サンプル数によっては時間がかかることがあります。

① [クロス集計項目表]シートを作成します。

[田園 V3]－[データ加工・集計]－[クロス集計]－[専用シート作成]を選択します。



② 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

[クロス集計項目表]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	h	表側にしたい設問項目に「R」、表頭にしたい設問項目に「C」、3次元クロス集計する場合は「W」とし、合計と平均を集計する場合は設問項目に「T」、最大値と最小値を集計する場合は「L」、バイアス法（n法）で標準偏差を集計する場合は「D」、非バイアス法（n-1法）で標準偏差を集計する場合は「E」に一意の番号を入力してください。同時に250個（12行目から261行目まで）までクロス集計できます。								
2		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8
3		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>
4		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4
5		設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルーの量	満足度・味
6										
7										
8	集計対象は									
9	番号を入力	カテゴリー数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	
10	↓									
11	設定例		R	C						
12										

③ [クロス集計項目表]シートの 12 行目以降に番号や記号を入力し、クロス集計を行う設問の組み合わせ方を指定します。

5		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
6		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<MA>	<FA>	<SA>	<MA>	<IN>	<SA>
7		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4	Q3-5	Q4-1	Q4-1-1	Q4-2	Q5	Q6	Q7
		設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルーの量	満足度・味	満足度・全体	商品改善点	商品改善点・その他	商品改善点・最も重要な点	よく買う食品	年齢	性別
8	集計対象は番号を入力	カテゴリー数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(7)	(1)	(7)	(12)	(1)	(2)
9																	
10		1															
11		設定例		R	C												
12		1		R	C												
13		2		R	C												
14		3															
15	4																
16	5										C				R	T	
17	6										C				R	T	W
															C	T	
															C	T	W

- 1 行に 1 つの組み合わせを設定し、最大 250 通りまで設定できます。
- 次の数字や文字で、組み合わせを設定します。文字は必ず半角 大文字で入力してください。

数字	クロス集計に使用する行を指定します。 A列(1 列目)に一意の番号を入れます。この番号は 1 から始まっている必要はありませんし、連番である必要もありませんが、同じ番号が 2 箇所以上に存在してはいけません。この番号は、クロス集計表を作成する時のシート名に使われます。A列(1 列目)に番号の入っていない行は、クロス集計の処理対象になりません。
R	左側のタイトルにする設問(表側、行見出しともいう)を指定します。 カテゴリー別数量集計では、表側は設定しません。
C	上側のタイトルにする設問(表頭、列見出しともいう)を指定します。
W	3 次元クロスを行う場合、条件となる設問を指定します。 3 次元クロス集計を行わない場合は入力しません。
T	この記号を付けた数値設問では、合計値と平均値を算出します。
L	この記号を付けた数値設問では、最大値と最小値を算出します。
D	この記号を付けた数値設問では、標準偏差をバイアス法で算出します。
E	この記号を付けた数値設問では、標準偏差を非バイアス法で算出します。

④ [田園 V3]－[データ加工・集計]－[クロス集計]－[クロス集計実行]を選択します。

「クロス集計実行」ウィンドウが表示されます。

⑤ 「クロス集計実行」ウィンドウでクロス集計の条件を設定します。

表側	不明や非該当を集計の対象(母数)から除くかどうか設定します。
表頭	デフォルトでは、表側は「不明も非該当も除く」設定に、表頭は「非該当のみ除く」設定になっています。通常はそのままでもかまいません。不明や非該当を集計結果に含めるか含めないかで割合が変わりますので慎重に選択してください。該当チェックが行われていない設問に対して非該当を含めても意味がありません。
不明ラベル	集計表の、不明回答に対する項目名を変更できます。「不明」「無回答」が選択できるようになっていますが、直接入力することも可能です。
非該当ラベル	集計表の、非該当回答に対する項目名を変更できます。「非該当」「該当しない」が選択できるようになっていますが、直接入力することも可能です。最初の設定は、「非該当」になっています。

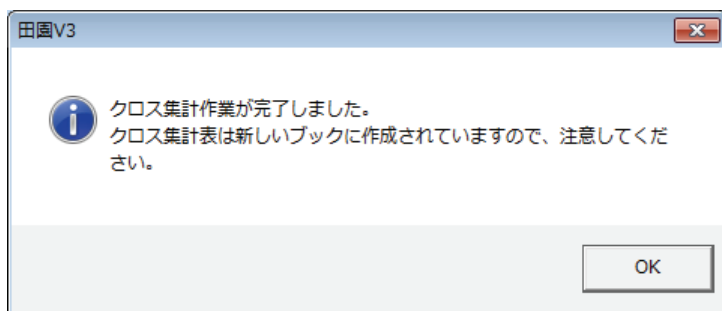
割合も算出	<p>チェックボックスをオンにするかオフにするかで、集計表に表示される内容が変わります。</p> <p>チェックマークがオンの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常クロス集計 集計表の 2 行目に割合をパーセンテージで表示します。 母数を横方向 (行方向) にとるか、縦方向 (列方向) にとるか、全体でとるかを設定することもできます。 ● 数量クロス集計、カテゴリー別数量集計 数値回答に次のいずれかのアルファベットを指定するとそのアルファベットに応じてそれぞれの内容が集計されます。 「T」を指定した場合は、集計表にそれぞれの合計と平均が表示されます。 「L」を指定した場合は、集計表にそれぞれの最大値と最小値が表示されます。 「D」を指定した場合は、集計表にバイアス法で計算した標準偏差が表示されます。 「E」を指定した場合は、集計表に非バイアス法で計算した標準偏差が表示されます。 ● 不明、非該当に関しては、件数だけが表示されます。 <p>チェックマークがオフの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常のカロス集計 集計表には、それぞれの件数だけが表示されます。 ● 数量クロス集計、カテゴリー別数量集計 数値回答に次のいずれかのアルファベットを指定するとそのアルファベットに応じてそれぞれの内容が集計されます。 「T」を指定した場合は、平均だけが表示されます。 「L」を指定した場合は、最大値だけが表示されます。 「D」や「E」を指定した場合は、標準偏差だけが表示されます。 ● 不明、非該当に関しては、件数が表示されます。 <p>比率を表示しない表を作成すると、その表を使ってグラフを作成するのに便利です。ただし「田園 V3」のグラフ作成の機能は、割合が算出されているクロス集計表からでもグラフを作成できます。</p>
割合算出	[割合を算出する]チェックボックスをオンにしたときは、この項目で割合の計算の基準を指定します。
見出しの設定	<p>表頭、表側の見出しの文字数と表示形式を選択します。文字数は全角文字数で数えた場合の文字数です。半角文字が含まれる場合は、半角文字 2 文字が全角文字の 1 文字としてカウントされます。例えば“好きな理由 1”や“好きな理由 10”という見出しは6文字とカウントされます。指定された文字数より長い見出しは自動的に破棄されます。</p> <p>この項目は、[割合を算出する]チェックボックスがオフのときは選択できません。</p>

⑥ 「クロス集計実行」ウィンドウの[OK]ボタンをクリックします。

クロス集計が始まります。

[クロス集計項目表]に従って、自動的にクロス集計が行われます。

⑦ 完了のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



クロス集計の結果を収めたブックが、自動的に作成されます。そのブックには、クロス集計表の表ごとに [クロス集計 *nnn*] シートが作成されています。ここで、*nnn* は [クロス集計項目表] シートの A 列に記述した番号です。

また、クロス集計を実行するときに用いた [クロス集計項目表] シートも、新しいブックにコピーされています。

⑧ 必要に応じて作成されたブックにページ設定 (📄 61 ページ) を行ったり、保存したりします。



集計により作成された新しいブックは、自動的に保存されません。

クロス集計一覧表について

クロス集計実行時には、どの設問をクロス集計したのかを示す [クロス集計一覧表] シートが作成されます。

	A	B	C	D	E
1	No.	表側設問 <形態>	表頭設問 <形態>	数量設問 <集計方法>	条 件 <形態>
2	クロス集計001	【Q1】購入回数 <SA>	【Q2-1】購入理由・1番目 <SA>		
3	クロス集計002	〃	〃		【Q3-1】満足度・値段 <SA>
4	クロス集計003	【Q5】よく買う簡単調理食品 <MA>	【Q3-5】満足度・全体 <SA>	【Q6】年齢 <合計と平均>	
5	クロス集計004	〃	〃	〃	【Q7】性別 <SA>
6	クロス集計005		【Q5】よく買う簡単調理食品 <MA>	〃	
7	クロス集計006		〃	〃	【Q7】性別 <SA>
8					
9					
10					
11					

クロス集計の実行例

通常クロス集計の実行例

[クロス集計項目表]シートで次のように設定すると、

	設問番号	1	2
	データ形態	<SA>	<SA>
	設問記号	Q1	Q2-1
	設問項目	購入回数	購入理由・1番目
集計対象は 番号を入力 ↓	カテゴリ数	(5)	(8)
設定例 1		R	C
		R	C

次のクロス集計表(割合表示あり)ができあがります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	■表側：【Q1】購入回数 《不明： 0件 を除く》										
2	■表頭：【Q2-1】購入理由・1番目										
3											
4											
5	(各項目の1行目はサンプル数、2行目は横%)										
6											
7		合計	前回食べて おいしかったか	店で試食 をしておいしかった	値段が安 かったから	お店の人 に勧められて	友人に勧め られて	評判が良 かったから	パッケージ が気に入ったか	TVコマー シャルを見て	不明
8											
9											
10											
11	全体	111	7	26	32	21	9	3	3	6	4
12		100.0	6.3	23.4	28.8	18.9	8.1	2.7	2.7	5.4	3.6
13											
14	はじめて	43	2	11	10	8	4	3		4	1
15		100.0	4.7	25.6	23.3	18.6	9.3	7.0		9.3	2.3
16											
17	2回目	18	1	4	4	5	1		1	1	1
18		100.0	5.6	22.2	22.2	27.8	5.6		5.6	5.6	5.6
19											
20	3回目	21	2	4	11	1	3				
21		100.0	9.5	19.0	52.4	4.8	14.3				
22											
23	4回目	6	1	1	2				1	1	
24		100.0	16.7	16.7	33.3				16.7	16.7	
25											
26	5回目以 上	23	1	6	5	7	1		1		2
27		100.0	4.3	26.1	21.7	30.4	4.3		4.3		8.7
28											
29											
30											

この表は、次のふたつの設問をクロス集計しています。また割合も表示しています。

- 表側(表の左側の項目)…【Q1】購入回数
- 表頭(表の上側の項目)…【Q2-1】購入理由・1番目

「クロス集計実行」ウィンドウで[割合も算出]チェックボックスをオフにして、割合を算出しないクロス集計表も作成できます。割合を算出しないクロス集計表を作成すると、グラフを作成する際に便利です。ただし「田園 V3」のグラフ作成の機能は、割合が算出されているクロス集計表からでもグラフを作成できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	■表側：【Q1】購入回数 《不明： 0件 を除く》										
2	■表頭：【Q2-1】購入理由・ 1 番目										
3											
4											
5	(各項目はサンプル数)										
6											
7		合計	前回食べておいしかったから	店で試食をしておいしかったから	値段が安かったから	お店の人に勧められて	友人に勧められて	評判が良かったから	パッケージが気に入ったから	TVコマーシャルを見て	不明
8	合計	111	7	26	32	21	9	3	3	6	4
9	はじめて	43	2	11	10	8	4	3		4	1
10	2回目	18	1	4	4	5	1		1	1	1
11	3回目	21	2	4	11	1	3				
12	4回目	6	1	1	2				1	1	
13	5回目以上	23	1	6	5	7	1		1		2
14											

3次元クロスを設定した通常のクロス集計例

[クロス集計項目表]シートで次のように 3次元クロスを設定すると、

設問番号	1	2	3	4	5
データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>
設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1
設問項目	購入回数	購入理由・ 1 番目	購入理由・ 2 番目	購入理由・ 3 番目	満足度・ 値段
集計対象は番号を入力	カテゴリー数	(5)	(8)	(8)	(5)
↓					
2	R	C			W

次のクロス集計表(割合表示あり)ができあがります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	■表側：【Q1】購入回数 《不明： 0件 を除く》											
2	■表頭：【Q2-1】購入理由・ 1 番目											
3	■条件：【Q3-1】満足度・ 値段 《満足》											
4												
5	(各項目の1行目はサンプル数、2行目は横%)											
6												
7		合計	前回食べておいしかったから	店で試食をしておいしかったから	値段が安かったから	お店の人に勧められて	友人に勧められて	評判が良かったから	パッケージが気に入ったから	TVコマーシャルを見て	不明	
8												
9												
10												
11	全体	36	4	10	10	7	2		1		2	
12		100.0	11.1	27.8	27.8	19.4	5.6		2.8		5.6	
13												
14	はじめて	13	2	4	3	2	1				1	
15		100.0	15.4	30.8	23.1	15.4	7.7				7.7	
16												
17	2回目	3		2	1							
18		100.0		66.7	33.3							
19												
20	3回目	2			1	1						
21		100.0			50.0	50.0						
22												
23	4回目	3	1	1	1							
24		100.0	33.3	33.3	33.3							
25												
26	5回目以上	15	1	3	4	4	1		1		1	
27		100.0	6.7	20.0	26.7	26.7	6.7		6.7		6.7	
28												
29												

- 満足度ごと(満足、やや満足、普通、やや不満、不満)にクロス集計されます。
- 3次元クロス集計は、条件毎に別のワークシートに作成されます。

数量クロス集計の実行例

[クロス集計項目表]シートで次のように設定すると、

	10	11	12	13	14	15	16
	<MA>	<FA>	<SA>	<MA>	<FA>	<IN>	<SA>
	Q4-1	Q4-1-1	Q4-2	Q5	Q5-1	Q6	Q7
	商品改善 点	商品改善 点・その他	商品改善 点・最重 要点	よく買う 簡単調理 食品	よく買う 簡単調理 食品・その他	年齢	性別
集計対象は 番号を入力 ↓	(7)	(1)	(7)	(13)	(1)	(1)	(2)
3				R		T	

このようなクロス集計表ができあがります。

	A	B	C	D	E	F	G	H
2	■表頭：【Q3-5】満足度・全体							
3	([Q6]年齢の合計と平均)							
4								
5	(各項目の1行目はサンプル数、2行目は合計、3行目は平均)							
6								
7		合計	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明
8								
9								
10								
11	全体	107	34	44	24	3	1	1
12		7,070.0	2,180.0	2,994.0	1,628.0	170.0	38.0	60.0
13		26.8	24.0	27.7	29.6	34.0	19.0	20.0
14	レトルト	49	16	23	9	1		
15	カレー	1,420.0	409.0	685.0	288.0	38.0		
16		29.0	25.6	29.8	32.0	38.0		
17	レトルト	41	14	17	7	2	1	
18	スパゲッ	971.0	313.0	407.0	160.0	72.0	19.0	
19	ティ	23.7	22.4	23.9	22.9	36.0	19.0	
20	レトルト	23	11	7	5			
21	やきそば	580.0	288.0	174.0	118.0			
22		25.2	26.2	24.9	23.6			
23	レトルト	9	2	4	2			1
24	おでん	272.0	58.0	106.0	88.0			20.0
25		30.2	29.0	26.5	44.0			20.0
26	冷凍コロ	34	10	16	7			1
27	ッケ	913.0	211.0	436.0	246.0			20.0
28		26.9	21.1	27.3	35.1			20.0
29	冷凍ハン	28	12	10	5		1	
30	バーグ	748.0	275.0	294.0	160.0		19.0	
31		26.7	22.9	29.4	32.0		19.0	
32	冷凍ピラ	37	9	15	12	1		
33	フ	1,042.0	219.0	426.0	359.0	38.0		
34		28.2	24.3	28.4	29.9	38.0		
35	冷凍ポテ	4	1	1	2			
36	トフライ	123.0	25.0	32.0	66.0			
37		30.8	25.0	32.0	38.0			
38	冷凍魚フ	8	5	3				
39	ライ	200.0	118.0	82.0				
40		25.0	23.6	27.3				

この表は、次の3つの設問をクロス集計しています。割合も表示しています。

- 表側(表の左側の項目)…【Q5】よく買う簡単調理食品
- 表頭(表の上側の項目)…【Q3-5】満足度・全体
- 数値(実際に集計する項目)…【Q6】年齢

「クロス集計実行」ウィンドウで[割合も算出]チェックボックスをオフにした場合は、[クロス集計項目表]シートで「T」を指定すると合計値、「L」を指定すると最大値、「D」や「E」を指定すると標準偏差が表示されます。

この例では[クロス集計項目表]シートで「T」を指定していますので、「クロス集計実行」ウィンドウで[割合も算出]チェックボックスをオフにすると、平均が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	■表側：【Q5】よく買う簡単調理食品 《不明：2件を除く》							
2	■表頭：【Q3-5】満足度・全体							
3	（【Q6】年齢の平均）							
4								
5	（各項目は平均）							
6								
7		合計	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明
8	合計	26.8	24.0	27.7	29.6	34.0	19.0	20.0
9	レトルトカ	29.0	25.6	29.8	32.0	38.0		
10	レトルトス	23.7	22.4	23.9	22.9	36.0	19.0	
11	レトルトや	25.2	26.2	24.9	23.6			
12	レトルトお	30.2	29.0	26.5	44.0			20.0
13	冷凍コロッ	26.9	21.1	27.3	35.1			20.0
14	冷凍ハンバ	26.7	22.9	29.4	32.0		19.0	
15	冷凍ピラフ	28.2	24.3	28.4	29.9	38.0		
16	冷凍ポテト	30.8	25.0	32.0	38.0			
17	冷凍魚ブラ	25.0	23.6	27.3				
18	インスタン	26.7		26.7				
19	インスタン	18.5		20.0	17.0			
20	インスタン	25.8	20.3	38.5	17.0			
21	その他	26.5	25.4	29.2	27.3	22.0		20.0
22								
23								
24								
25								

3次元クロスを設定した数量設問のクロス集計例

「クロス集計項目表」シートで3次元クロスの設定を次ように設定すると、

	10	11	12	13	14	15	16
	<MA>	<FA>	<SA>	<MA>	<FA>	<IN>	<SA>
	Q4-1	Q4-1-1	Q4-2	Q5	Q5-1	Q6	Q7
	商品改善点	商品改善点・その他	商品改善点・最重要点	よく買う簡単調理食品	よく買う簡単調理食品・その他	年齢	性別
集計対象は番号を入力	(7)	(1)	(7)	(13)	(1)	(1)	(2)
↓							
4				R		T	W

次のクロス集計表ができあがります。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	■表側：【Q5】よく買う簡単調理食品 《不明：1件を除く》							
2	■表頭：【Q3-5】満足度・全体							
3	■条件：【Q7】性別 《男性》							
4	（【Q6】年齢の合計と平均）							
5	（各項目の1行目はサンプル数、2行目は合計、3行目は平均）							
6								
7		合計	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明
8								
9								
10								
11	全体	25	7	13	5			
12		1,578.0	378.0	930.0	270.0			
13		25.0	18.9	29.1	24.5			
14	レトルト	15	5	8	2			
15	カレー	417.0	106.0	261.0	50.0			
16		27.8	21.2	32.6	25.0			
17	レトルト	12	5	4	3			
18	スパゲッティ	231.0	87.0	72.0	72.0			
19		19.3	17.4	18.0	24.0			
20	レトルト	7	3	4				
21	やきそば	155.0	58.0	97.0				
22		22.1	19.3	24.3				
23	レトルト	2	1	1				
24	おでん	46.0	12.0	34.0				
25		23.0	12.0	34.0				
26	冷凍コロ	11	2	6	3			
27	ック	325.0	36.0	207.0	82.0			
28		29.5	18.0	34.5	27.3			
29	冷凍ハン	5	2	3				
30	バーグ	132.0	24.0	108.0				
31		26.4	12.0	36.0				
32	冷凍ピラ	6		4	2			
33	フ	148.0		114.0	34.0			
34		24.7		28.5	17.0			
35	冷凍ポテ	1	1					
36	トフライ	25.0	25.0					
37		25.0	25.0					
38	冷凍魚フ							
39	ライ							
40								

カテゴリ別数量集計の実行例

クロス集計を使って、カテゴリ毎の細かい数値集計が行えます。

[クロス集計項目表]シートで次のように設定すると、

	10	11	12	13	14	15	16
	<MA>	<FA>	<SA>	<MA>	<FA>	<IN>	<SA>
	Q4-1	Q4-1-1	Q4-2	Q5	Q5-1	Q6	Q7
	商品改善点	商品改善点・その他	商品改善点・最重要点	よく買う簡単調理食品	よく買う簡単調理食品・その他	年齢	性別
集計対象は番号を入力	(7)	(1)	(7)	(13)	(1)	(1)	(2)
↓							
5				C		T	

合計と平均が表示された集計表ができます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	■表頭：【Q5】よく買う簡単調理食品															
2	([Q6]年齢の合計と平均)															
3																
4																
5	(各項目の1行目はサンプル数、2行目は合計、3行目は平均)															
6																
7		合計	レトルトカレー	レトルトスパゲッティ	レトルトやきそば	レトルトおでん	冷凍コロッケ	冷凍ハンバーグ	冷凍ピラフ	冷凍ポテトフライ	冷凍魚フライ	インスタントラーメン	インスタントやきそば	インスタントうどん・そば	その他	不明
8																
9																
10																
11	合計と平均	268	49	41	23	9	35	29	37	4	8	3	2	6	20	2
12		7,111.0	1,420.0	971.0	580.0	272.0	913.0	748.0	1,042.0	123.0	200.0	80.0	37.0	155.0	529.0	41.0
13		26.5	29.0	23.7	25.2	30.2	26.1	25.8	28.2	30.8	25.0	26.7	18.5	25.8	26.5	20.5
14	不明	2					1	1								
15																
16																
17																

この表は、次の2つの設問を集計しています。表側は設定していませんので、厳密にはクロス集計ではありませんが、項目の指定方法は大変よく似ています。

- 表側(表の左側の項目)…(設定していません)
- 表頭(表の上側の項目)…【Q5】よく買う簡単調理食品
- 数値(実際に集計する項目)…【Q6】年齢

「割合を表示」チェックボックスをオフにした場合は、「クロス集計項目表」シートで「T」を指定した場合は合計値、「L」を指定した場合は最大値、「D」や「E」を指定した場合は標準偏差が表示されます。

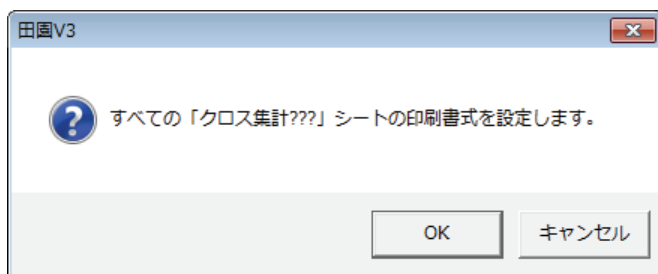
この例では、[クロス集計項目表]シートで「T」を指定していますので、平均が表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	■表頭：【Q5】よく買う簡単調理食品															
2	([Q6]年齢の平均)															
3																
4																
5	(各項目は平均 非該当はサンプル数)															
6																
7		合計	レトルトカレー	レトルトスパゲッティ	レトルトやきそば	レトルトおでん	冷凍コロッケ	冷凍ハンバーグ	冷凍ピラフ	冷凍ポテトフライ	冷凍魚フライ	インスタントラーメン	インスタントやきそば	インスタントうどん・そば	その他	不明
8	平均	26.5	29.0	23.7	25.2	30.2	26.1	25.8	28.2	30.8	25.0	26.7	18.5	25.8	26.5	20.5
9	不明	0.0					0.0	0.0								
10																
11																
12																

クロス集計表のページ設定

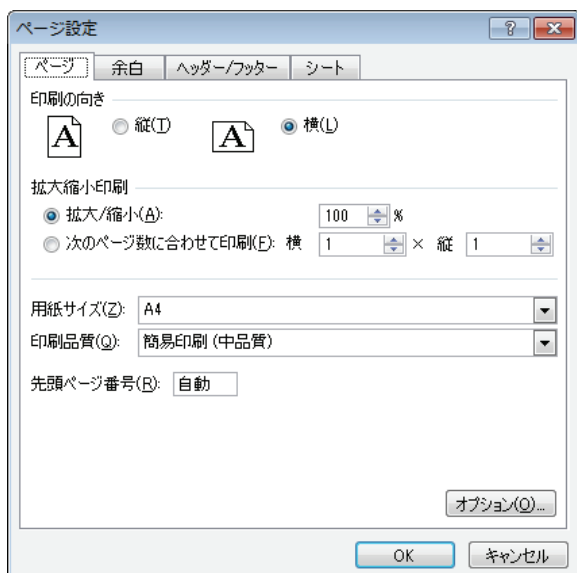
クロス集計表の印刷書式を簡単に設定できます。
ブック毎に次の操作で設定を行います。

- ① クロス集計で作成されたブックで[田園 V3]－[データ加工・集計]－[クロス集計]－[印刷編集]を選択します。
- ② 確認メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



「ページ設定」ウィンドウが表示されます。

- ③ 「ページ設定」ウィンドウで、印刷するときの設定を行います。



- 名前が「クロス集計」で始まるすべてのシートの書式が設定されます。
- 用紙サイズや印刷の向き、余白の大きさ、ヘッダーやフッターなどの設定を行います。
- 初期状態では、次の設定になります。
 - ・用紙サイズ ……………A4
 - ・印刷の向き ……………横
 - ・拡大縮小印刷 ……用紙サイズに合わせて1×1に収まるように自動調整する
 - ・ヘッダー ……………日付を配置
 - ・フッター ……………ページ番号を配置
- 印刷を行うときに、ここで設定した内容に基づいて、クロス集計表のレイアウトが調整されます。
- 行方向のページ設定は、手作業で行ってください。

- ④ [OK]ボタンをクリックします。

名前が「クロス集計」で始まるすべてのシートの書式が設定されます。

5. 集計に関連するその他の機能

この節では、集計に関して「田園 V3」で利用できるその他の機能について説明します。

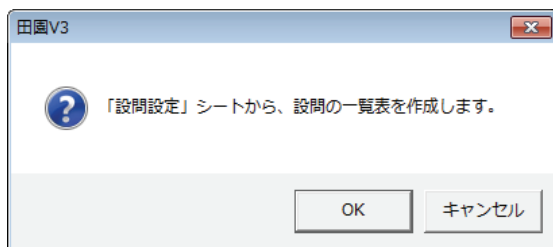
設問一覧作成

設問のみの一覧を作成できます。(この機能により作成する一覧には、選択肢は含まれません。)



設問一覧を作成するには、[設問設定]シートが完成していなければなりません。

- ① [田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[設問一覧作成]－[設問一覧作成]を選択します。
- ② 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[設問設定]シートを元にして、[設問一覧]シートが作成されます。

	A	B	C
1	No.	設問<形態>	
2	1	Q1購入回数<S>	
3	2	Q2-1購入理由・1番目<S>	
4	3	Q2-2購入理由・2番目<S>	
5	4	Q2-3購入理由・3番目<S>	
6	5	Q3-1満足度・値段<S>	
7	6	Q3-2満足度・具の量<S>	
8	7	Q3-3満足度・ルーの量<S>	
9	8	Q3-4満足度・味<S>	
10	9	Q3-5満足度・全体<S>	
11	10	Q4-1商品改善点<M>	
12	11	Q4-1-1商品改善点・その他<F>	
13	12	Q4-2商品改善点・最重要点<S>	
14	13	Q5よく買う簡単調理食品<M>	
15	14	Q6年齢<I>	
16	15	Q7性別<S>	
17			

設問一覧作成（記号無）

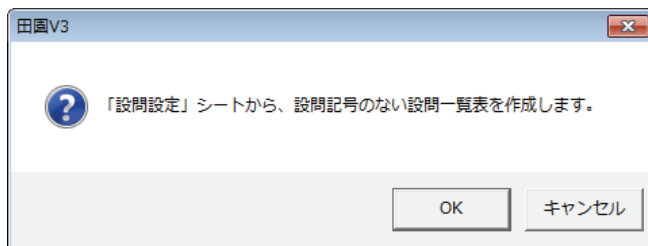
設問記号のない設問一覧を作成できます。



設問一覧を作成するには、[設問設定]シートが完成していなければなりません。

① [田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[設問一覧作成]－[設問一覧作成(記号無)]を選択します。

② 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[設問設定]シートを元にして、[設問文一覧]シートが作成されます。

	A	B	C
1	No.	設問<形態>	
2	1	購入回数<S>	
3	2	購入理由・1番目<S>	
4	3	購入理由・2番目<S>	
5	4	購入理由・3番目<S>	
6	5	満足度・値段<S>	
7	6	満足度・具の量<S>	
8	7	満足度・ルーの量<S>	
9	8	満足度・味<S>	
10	9	満足度・全体<S>	
11	10	商品改善点<M>	
12	11	商品改善点・その他<F>	
13	12	商品改善点・最重要点<S>	
14	13	よく買う簡単調理食品<M>	
15	14	年齢<I>	
16	15	性別<S>	
17			

カテゴリー置換

[ソースデータ]シートのカテゴリー(選択肢)番号を実際の選択肢文字列に置き換えたワークシートを作成できます。

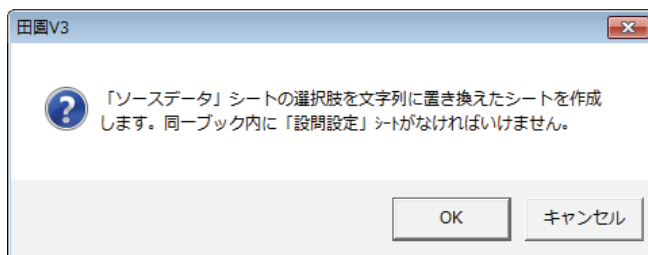
作成したワークシートは、プレゼンテーション資料として回答の一覧を示すときなどに利用することができます。



カテゴリー置換を行うには、[設問設定]シート、および[ソースデータ]シートが完成していなければなりません。

① [田園 V3]－[データ加工・集計]－[カテゴリー置換]を選択します。

② 確認のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



[ソースデータ]シートを元にして、[カテゴリー置換]シートが作成されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	h	●データ内容は選択肢文字列です。 N・・・不明 P・・・非該当 <SA>：単数回答 <MA>：複数回答 <IN>：数値回答 <FA>：自由回答										
2												
3												
4												
5		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<MA>
7		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4	Q3-5	Q4-1
		設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルールの量	満足度・味	満足度・全体	商品改善点
8	サンプル											
9	番号	カテゴリー数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(7)
10												
11	1	はじめて	3回目	4回目	はじめて	3回目	5回目以上	はじめて	3回目	5回目以上	3回目	はじめて
12	2	おいしい	が安かった	に勤められた	に勤められた	に勤められた	満足	やや満足	やや満足	満足	普通	P
13	3	4回目	ジが気に入	が安かった	に勤められた	に勤められた	普通	やや満足	満足	満足	やや満足	P
14	4	はじめて	が良かった	が安かった	しておいし	しておいし	普通	やや満足	普通	満足	満足	P
15	5	5回目以上	ておいしか	しておいし	が安かった	が安かった	満足	普通	やや満足	やや満足	やや満足	P
16	6	はじめて	しておいし	が安かった	ジが気に入	ジが気に入	普通	やや不満	やや不満	やや不満	やや不満	もっと味を
17	7	3回目	ておいしか	しておいし	が安かった	が安かった	普通	やや満足	満足	満足	やや満足	P
18	8	5回目以上	ジが気に入	しておいし	に勤められた	に勤められた	満足	普通	やや満足	やや満足	やや満足	P
19	9	3回目	しておいし	が安かった	に勤められた	に勤められた	普通	やや不満	不満	不満	不満	もっと味を
20	10	はじめて	N	N	N	N	満足	普通	やや満足	満足	やや満足	P
21	11	4回目	が安かった	しておいし	に勤められた	に勤められた	満足	普通	やや不満	やや満足	不満	その他
22	12	4回目	が安かった	に勤められた	しておいし	しておいし	N	やや不満	やや満足	やや満足	N	P
23	13	3回目	しておいし	が安かった	に勤められた	に勤められた	やや満足	やや満足	満足	満足	やや満足	P
24	14	5回目以上	り人に勤め	ておいしか	に勤められた	に勤められた	満足	普通	やや満足	やや満足	満足	P
25	15	2回目	人に勤め	り人に勤め	が良かった	が良かった	やや満足	普通	やや満足	やや満足	やや満足	P
26	16	はじめて	しておいし	り人に勤め	に勤められた	に勤められた	やや満足	やや不満	やや満足	満足	やや満足	P
27	17	3回目	り人に勤め	に勤められた	が安かった	が安かった	満足	やや満足	やや満足	やや満足	満足	P
28	18	5回目以上	り人に勤め	ておいしか	が安かった	が安かった	やや満足	やや不満	やや満足	やや満足	やや満足	P
29	19	3回目	が安かった	に勤められた	ておいしか	ておいしか	やや満足	やや不満	やや満足	普通	やや満足	P
30	20	2回目	り人に勤め	に勤められた	ておいしか	ておいしか	普通	やや満足	やや満足	満足	普通	P

サンプル抽出

[ソースデータ]シートから条件にマッチしたサンプルだけを抜き出すことができます。例えば「性別」に「男性」と回答しているサンプルだけを抽出することができます。

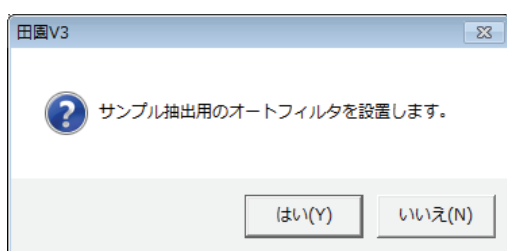
「田園 V3」では、3 次元クロスまでしかサポートしていませんが、この機能を利用することにより、さらに多次元での集計が可能になります。

サンプル抽出用フィルタの設定

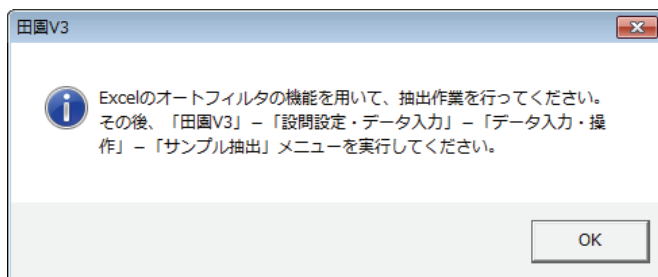
抽出条件を設定するときに使用するオートフィルタを設定します。

この操作を1回行っておけば、いろいろな条件でサンプル抽出の操作を行うことができます。

- ① [田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[データ入力・操作]－[サンプル抽出用フィルタ設定]を選択します。
- ② 確認のメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



- ② もう一度確認のメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



[ソースデータ]シートにオート フィルタが設定されています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	h	●データ内容（数値）はカテゴリー番号です。カテゴリー番号は設問一覧シートを参照してください。 N・・・不明 P・・・非該当 <SA>：単数回答 <MA>：複数回答 <IN>：数値回答 <FA>：自由回答								
2		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8
3		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>
4		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4
5		設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルーの量	満足度・味の量
6										
7										
8	サンプル									
9	番号	カテゴリー数	(5)	(3)	(3)	(3)	(5)	(5)	(5)	(5)
10										
11	1		1	1	3	5	1	2	2	1
12	2		3	1	5	4	3	2	1	3
13	3		4	7	3	5	3	1	1	2
14	4		1	6	3	2	3	2	3	5
15	5		5	1	2	3	1	3	2	2
16	6		1	2	3	7	3	4	4	4
17	7		3	1	2	P	3	2	1	1
18	8		5	7	2	5	1	3	2	2
19	9		3	2	3	5	3	4	5	5
20	10		1	N	N	N	1	3	2	1

フィルタを利用したサンプルの抽出

フィルタを利用して、条件にマッチするサンプルを別ワークシートに抽出することができます。

① オートフィルタの矢印 をクリックし、条件を選択します。

例えば、「購入回数」に「1(初めて)」と回答したサンプルを抽出する場合は、Q1 の列(C 列)のオートフィルタの矢印 をクリックして「1」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



条件にマッチしたサンプルだけが表示されます。

オートフィルタで抽出したことは、行番号が青色に変わることで判別できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	h									
2		●データ内容(数値)はカテゴリー番号です。カテゴリー番号は設問一覧シートを参照してください。 N・・・不明 P・・・非該当 <SA>:単数回答 <MA>:複数回答 <IN>:数値回答 <FA>:自由回答								
3										
4										
5		設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8
6		データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>
7		設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4
		設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルールの量	満足度・味
8	サンプル									
9	番号	カテゴリー数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	(5)
10										
11	1		1	1	3	5	1	2	2	1
14	4		1	6	3	2	3	2	3	5
16	6		1	2	3	7	3	4	4	4
20	10		1	N	N	N	1	3	2	1
26	16		1	2	4	5	2	4	2	1
31	21		1	2	7	3	1	2	1	3
32	22		1	4	5	2	3	3	2	1
33	23		1	2	3	1	1	3	2	3
35	25		1	2	5	4	1	3	2	1
42	32		1	4	5	2	2	2	2	1

青色で表示される

② 必要に応じて、ユーザ設定フィルタでさらに細かい抽出条件を設定します。(Excel 2003 の場合はオートフィルタ オプションの機能を利用します。)

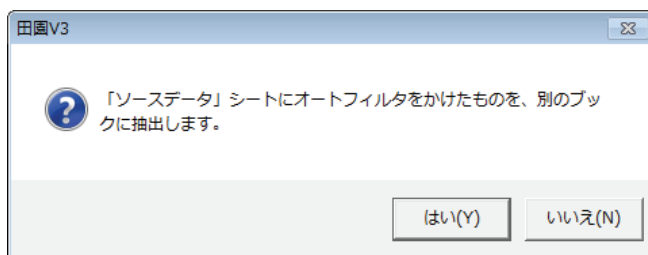
例えば、Q6(年齢)で、10 歳以上、50 歳以下のデータを抽出するには、以下のように条件を設定し、[OK]ボタンをクリックします。

条件にマッチするデータだけが表示されます。

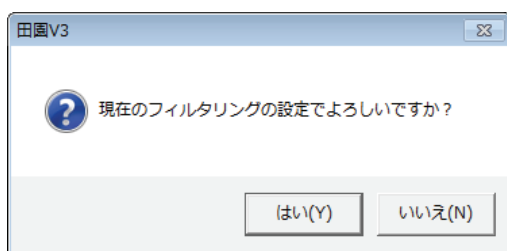
	A	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	h								
2									
3									
4									
5		9	10	11	12	13	14	15	16
6		<SA>	<MA>	<FA>	<SA>	<MA>	<FA>	<IN>	<SA>
7		Q3-5	Q4-1	Q4-1-1	Q4-2	Q5	Q5-1	Q6	Q7
		満足度・全体	商品改善点	商品改善点・その他	商品改善点・最重要点	よく買う簡単調理食品	よく買う簡単調理食品・その他	年齢	性別
8	サンプル番号	(5)	(7)	(1)	(7)	(13)	(1)	(1)	(2)
9									
10									
11	1	3	P	P	P	1,3,7	P	27	N
14	4	1	P	P	P	1,2,3	P	18	1
16	6	4	2,3,5	P	3	N	P	28	2
26	16	2	P	P	P	1,13,7	冷凍お好み	19	2
31	21	1	P	P	P	2,13	冷凍お好み	16	2
32	22	3	P	P	P	2,5,13	真空パック	32	1
33	23	1	P	P	P	5,13,7	冷凍お好み	19	2

③ [ソースデータ]シートに抽出対象のデータだけを表示できたら、[田園 V3]－[設問設定・データ入力]－[データ入力・操作]－[サンプル抽出]を選択します。

④ 確認のメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

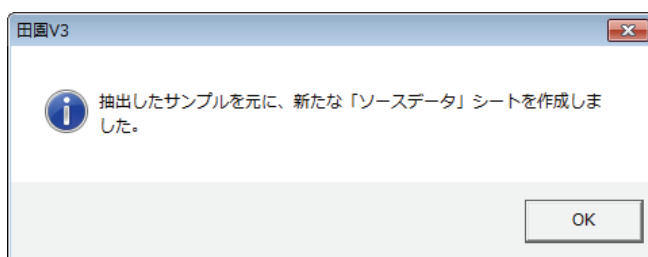


⑤ 確認のメッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



[ソースデータ]シートに表示されているサンプルが新しいブックにコピーされます。

⑥ 完了のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



新しいブックには、[ソースデータ]シートのほかに、[設問設定]シートと[データ入力フォーム]シートもコピーされています。したがって、抽出して作成したブックは元のブックからは完全に独立した、新しいアンケートのファイルとして扱うことができます。

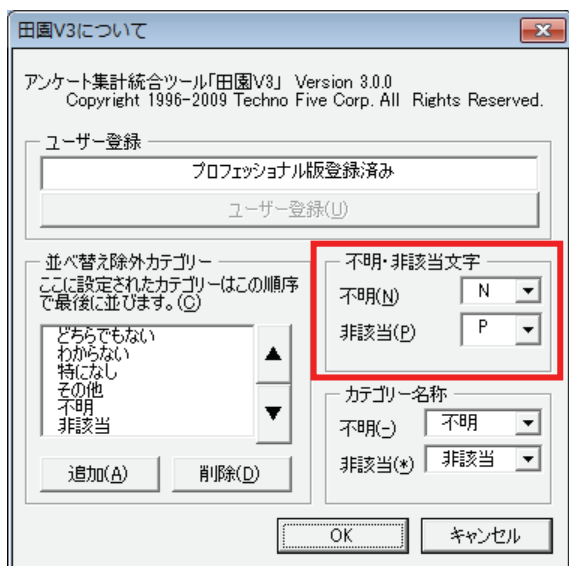
設問番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
データ形態	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>	<SA>
設問記号	Q1	Q2-1	Q2-2	Q2-3	Q3-1	Q3-2	Q3-3	Q3-4	Q3-5
設問項目	購入回数	購入理由・1番目	購入理由・2番目	購入理由・3番目	満足度・値段	満足度・具の量	満足度・ルーの量	満足度・味	満足度・全体
サンプル番号	カテゴリー数	(5)	(8)	(8)	(8)	(5)	(5)	(5)	(5)
1	h								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8	サンプル								
9	番号								
10									
11	1	1	1	3	5	1	2	2	1
12	4	1	6	3	2	3	2	3	5
13	6	1	2	3	7	3	4	4	4
14	16	1	2	4	5	2	4	2	1
15	21	1	2	7	3	1	2	1	3
16	22	1	4	5	2	3	3	2	1
17									

不明・非該当文字の変更

「田園 V3」では、不明、非該当を表す文字は「N」、「P」ですが、これを変更できます。

① 不明文字、非該当文字を変更するには[田園 V3]－[田園 V3 について]を選択します。

② [不明、非該当文字]の[不明]および[非該当]の項目の文字を変更します。



- ドロップダウンリストから文字を選択します。
- 新たな文字をキーボードから入力しても構いません。

③ [OK]ボタンをクリックします。



不明文字、非該当文字は、必要以上に変更しないことをお勧めします。

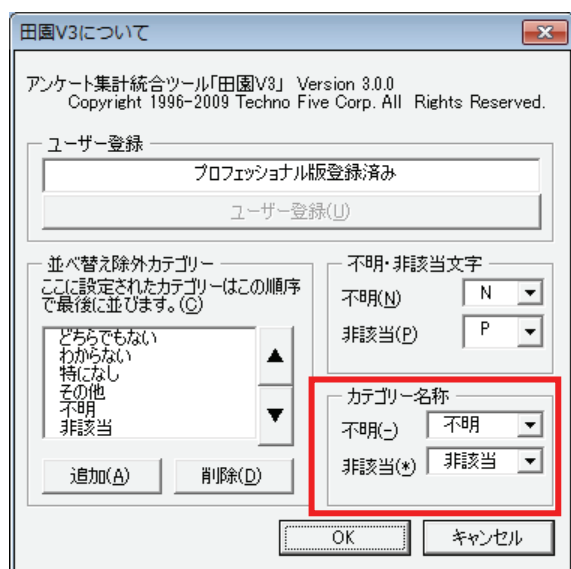
例えば従来まで不明文字が「N」だったのに途中から「不」などの別の文字に変更すると、元のデータの「N」を不明文字と気づかないなどの間違いが起こりやすくなります。

不明・非該当のカテゴリー名称の変更

「田園 V3」では、不明、非該当を表すカテゴリー名はそれぞれ「不明」および「非該当」ですが、これを変更できます。

① 不明文字、非該当文字を変更するには[田園 V3]－[田園 V3 について]を選択します。

② [カテゴリー名称]の[不明]および[非該当]の項目の文字を変更します。



- ドロップダウンリストから文字を選択します。
- 新たな文字をキーボードから入力しても構いません。

③ [OK]ボタンをクリックします。



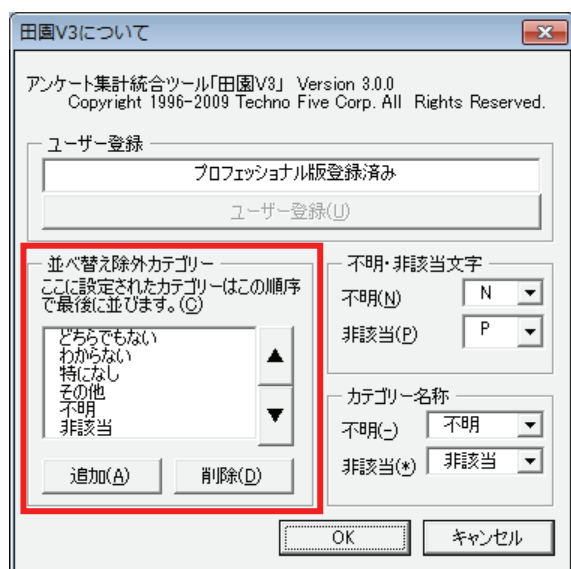
不明、非該当に相当するカテゴリー名を変更したら、「並べ替え除外カテゴリー」に含まれるカテゴリー名もあわせて変更してください。
並べ替え除外の対象にならなくなります。

並べ替え除外カテゴリーの変更

単純集計では、カテゴリー（選択肢）を「ランキング順」に並べ替えることができます。このとき、ランキング順並べ替えの対象から除外するカテゴリーを設定できます。

① 不明文字、非該当文字を変更するには[田園 V3]－[田園 V3 について]を選択します。

② [カテゴリー名称]の[不明]および[非該当]の項目の文字を変更します。



- 単純集計を行うと、カテゴリー（選択肢）を「ランキング順」に並べ替えることができます。その際、「並べ替え除外カテゴリー」に設定したカテゴリーは、ランキング順並べ替えの対象から除外され、必ずここに指定されている順序で最後に並びます。
- 最初の状態では、カテゴリー名として「どちらでもない」「わからない」「特になし」「その他」「不明」「非該当」が設定されています。この設定は自由に変更できます。
- [追加]ボタンをクリックすると、並べ替え除外の対象となるカテゴリー名を追加できます。
- カテゴリー名を選択して[削除]ボタンをクリックすると、選択したカテゴリー名を並べ替え除外の対象からはずします。
- カテゴリー名を選択して[▲]または[▼]ボタンをクリックすると、選択しているカテゴリーの並び順を上または下に移動できます。

③ [OK]ボタンをクリックします。



すでに設定されている並べ替え除外カテゴリー名は変更できません。

変更が必要な場合は、□該当するカテゴリー名を削除し、□新たに正しいカテゴリー名を追加し、□順序を調整してください。

アンケート集計統合ツール「田園」Version 3.0マニュアル
V データ加工・集計編

2010年4月1日 初版発行

製 作：テクノファイブ株式会社

発行者：テクノファイブ株式会社

〒617-0843 京都府長岡京市友岡西山17-40

TEL:075-955-7220 FAX:075-955-7240

著作権：Copyright©2010 Technofive Corporation All Rights Reserved.

本製品のプログラムおよびマニュアルは、テクノファイブ株式会社が著作権および所有権を有しています。著作権者による事前の許諾なしに、いかなる手段による全部または一部の複写、再利用、第三者への提供もしくは使用の許諾、その他の処分をすることはできません。

本製品の内容は、予告なしに変更することがあります。

- 田園、畦道、蓮華は、テクノファイブ株式会社の商標です。
- MS、Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT、Visual Basicは、Microsoft Corporation の米国またはその他の国、あるいはその両方における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。